

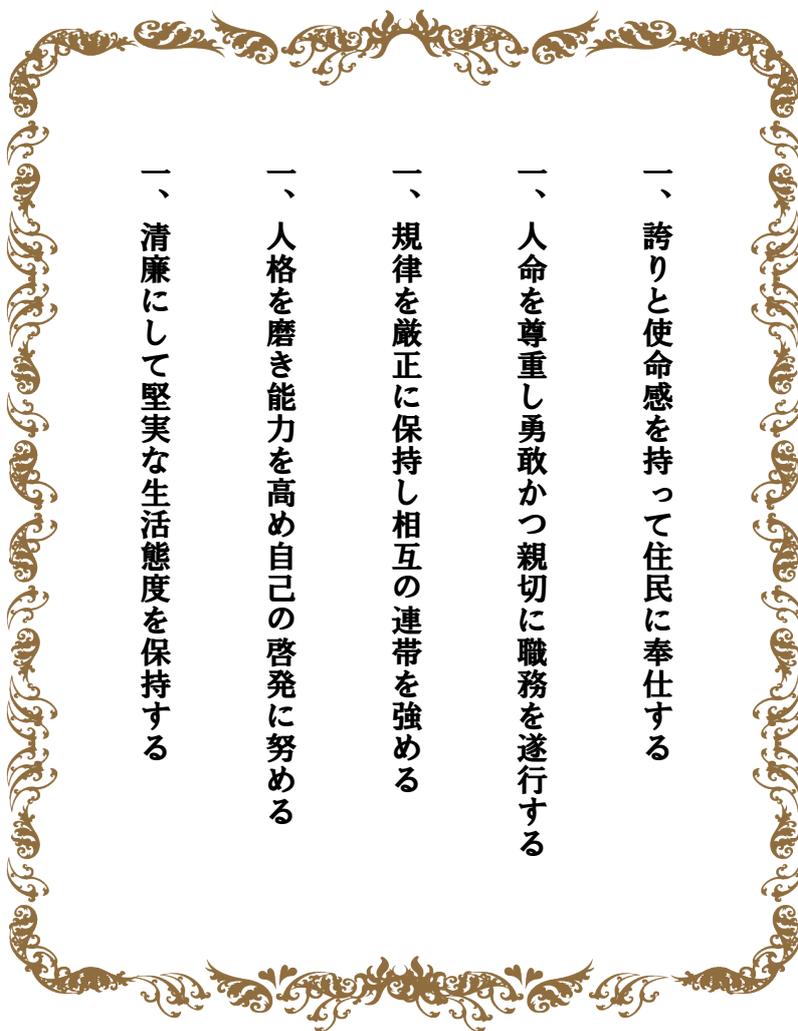
2025

消防年報



嶺北消防組合

嶺北消防組合 訓

- 
- 一、誇りと使命感を持って住民に奉仕する
 - 一、人命を尊重し勇敢かつ親切に職務を遂行する
 - 一、規律を厳正に保持し相互の連帯を強める
 - 一、人格を磨き能力を高め自己の啓発に努める
 - 一、清廉にして堅実な生活態度を保持する

～災害に強く、安全で安心して暮らせるまちへ～

[令和7年度嶺北消防組合施策方針]

1 災害防ぎょ活動体制の充実

火災等の災害に備え、迅速・的確に対応できる体制を図る。

- (1) 消防警防体制の充実
- (2) 消防施設等の整備及び維持管理

2 予防体制の充実

住宅防火対策の推進及び防火対象物への重点的な立入検査等により、予防体制の充実強化を図る。

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 消防法令違反是正の推進
- (3) 防火対象物に対する立入検査の充実強化
- (4) 予防関係調査技術の向上

3 救急体制の充実

増加する救急需要に対する対応強化を図るため、救急救命士の養成など救急業務の高度化や幅広い年齢層を対象に救命講習を実施するなど応急手当の普及を目指す。

- (1) 救急需要への対応
- (2) 救急高度化の推進
- (3) 市民啓発の推進

4 組織体制の充実

多様化する自然環境と市民ニーズを的確に捉え、柔軟な発想で市民生活の安全・安心に直結する施策を進める。

- (1) 働き方改革の推進
- (2) 人材育成の構築
- (3) 法令の遵守と服務規律、倫理規範の徹底

構成市の概要

あわら市



あわら市は、福井県の最北端に位置し、南は坂井市、そして北東は石川県加賀市に隣接し、北西は日本海に面しています。

平成16年3月1日に金津町と芦原町が合併してあわら市が誕生しました。面積は116.98km²で、地形は北部の丘陵地、南西部の平坦地、東部の山岳地帯と大きく3つに分かれており、南北に北潟湖が横たわり、東西には竹田川が流れています。

市の中央部には北陸新幹線芦原温泉駅とあわら温泉街を核とした二つの市街地、南部に田園地帯が広がっており、あわら温泉は古くは北陸道の宿場町として、明治期以降は県内随一の温泉街として栄え、年間を通して多くの浴客が訪れています。

あわら市は、美しい日本海、静かな湖や川、緑豊かな山々、優れた泉質の温泉、太陽をいっぱい浴びた農作物など、自然の恵みにあふれたところです。

坂井市



坂井市は、福井県の北部に位置し、南北約17km、東西約32kmにおよぶ東西に長い行政区域で、西は日本海に面し、東は勝山市、北はあわら市および石川県、南は福井市および永平寺町に接しています。平成18年3月20日に三国町、丸岡町、春江町、坂井町の四町が合併して坂井市が誕生しました。面積は209.67km²で、市の南部を九頭竜川が、東部の森林地域を源流とする竹田川が北部を流れ、西部で合流し日本海に注ぎ込んでいます。中部には福井県随一の穀倉地帯である広大な坂井平野が広がり、西部には砂丘地および丘陵地が広がっています。

北東部の小高い丘の上には、柴田勝豊が築城した丸岡城(別名、霞ヶ城)が現存し、天守閣は国の重要文化財となっています。天守閣のすぐ下には、日本一短い手紙で有名な「一筆啓上火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」と刻んだ石碑があり、火の用心という言葉はこの手紙から生まれました。

北西部には、日本海に面して奇勝奇岩で有名な東尋坊があり、日本海と断崖絶壁の岩石が繰り成す景観と壮大さに、年間を通して多くの観光客が訪れています。

目 次

■ 消防概要

嶺北消防組合の概要	1
消防のあゆみ	2

■ 消防情勢

消防庁舎の所在地	15
嶺北消防組合組織機構図	17
令和7年度嶺北消防組合当初予算	
1. 歳入	18
2. 歳出	18
3. 分担金の内訳	18
消防職員状況	
1. 消防職員の配置状況	19
2. 消防職員年齢状況	19
3. 消防職員勤続年数	19
4. 消防職員教養等実施状況	20
消防施設	
1. 消防機械	21
2. 現有消防水利	23

■ 予防関係

建 築	
1. 月別建築同意件数	24
2. 用途別建築同意件数	24
防火対象物数	25
消防用設備等設置状況	26
危 険 物	
1. 危険物施設設置状況	29
2. 危険物関係事務処理状況	29
3. 消防手数料徴収状況	29
各種届出処理状況	30
防火管理者資格付与講習会実施状況	30

■ 通信関係

消防緊急通信指令施設関係	
1. 指令運用・支援情報	31
2. 無線電話	31
3. 119番受付状況（月別）	32
4. 高機能消防指令センターシステム構成図	

■火災統計

火災概要（市別・前年との比較）	33
過去5ヶ年の推移（発生件数及び損害額）	34
月別・市別火災発生状況	34
原因別火災発生状況	35
用途別火災発生状況及び損害額	35
覚知別・火災種別出場件数	36
火災以外のお出場状況	36

■救急統計

管轄別・事故種別出場件数・搬送人員数	37
管轄別・月別出場件数・搬送人員数	38
事故種別・傷病程度別搬送人員数	39
覚知別・事故種別出場件数	39
救急隊員の行なった応急処置件数	40
救急講習会実施状況	40
過去5ヶ年の推移 （出場件数、搬送人員数・市別出場件数・年齢区分別割合）	41
ドクターヘリ要請状況	42
ドクターヘリ 市別・事故種別要請件数	42
ドクターヘリ 市別・事故種別搬送件数	42

■救助統計

救助種別・各区分別出場件数	43
過去5ヶ年の推移 （救助種別推移・出場件数及び救助人員数）	43、44
事故種別・覚知別出場件数	44

■消防団

消防団組織機構図	45
消防団員数	45
消防団員勤続年数	46
消防団員年齢状況	46
保有消防車両一覧	47、48
消防団員の報酬	48

■関係団体

女性防火クラブ	49
幼年・少年消防クラブ	50
嶺北防火協会	51
主な事業内容	52



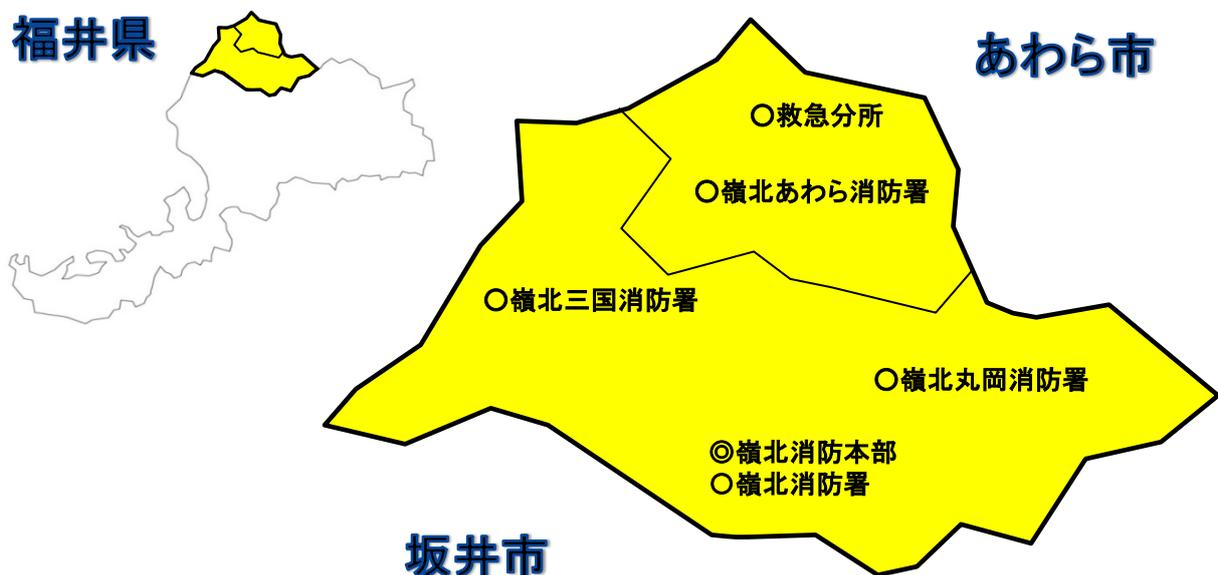
消防概要

嶺北消防組合の概要

嶺北消防組合は、福井県トップを切って昭和44年7月24日に春江町、坂井町の2町による一部事務組合として呱呱の声をあげた。その後、昭和45年4月1日に金津町が加入し、また平成の大合併により平成16年3月1日に金津町、芦原町が合併してあわら市が誕生し、平成18年3月20日には三国町、丸岡町、春江町、坂井町が合併して坂井市が誕生、現在は2市により構成されている。

当組合は福井県の北端にあたり、西部に九頭竜川、北部に竹田川の各河川があり、古代より坂井平野は広大な農業地帯として発展してきた。また合併によって誕生した坂井市には、国の重要文化財である「丸岡城」をはじめ、日本随一の奇勝として名高い「東尋坊」などの観光名所があり、またあわら市には福井県屈指の温泉街がある。

北東は石川県に接し、西は日本海に面し、東は永平寺町、南は福井市に隣接している。交通面では北陸新幹線、ハピラインふくい線、えちぜん鉄道三国芦原線、国道8号線ならびに北陸自動車道が走り、主要地方路の県道福井・加賀線、福井・金津線が縦断し、交通には極めて便利である。県下唯一の空の玄関「福井空港」も昭和42年より設置されている。都市郊外特有の現象として工場・住宅等が急増した地域である。当組合は1本部、4消防署、1分所体制で、市民の安心安全の為、日夜活動を続けている。



	面積(km ²)	世帯数(世帯)	人口(人)	備考
あわら市	116.98	10,499	26,148	世帯数・人口数は 令和7年4月1日 現在
坂井市	209.67	33,810	88,179	
合計	326.65	44,309	114,327	

消 防 の あ ゆ み

昭和44年7月	<p>嶺北消防組合設立</p> <p>広域消防体制確立のため春江町と、坂井町の2町により消防一部事務組合の設立が許可され嶺北消防組合として発足した。</p>
8月	<p>嶺北消防本部・署開設</p> <p>嶺北消防組合初代消防長に春江町長の三寺利兵衛氏が就任</p> <p>初代嶺北消防署長に木村 驥 就任</p> <p>消防業務、救急業務開始</p> <p>消防職員定数、消防吏員30名、消防吏員以外の職員2名とする。</p> <p>消防団員定数192名 化学消防自動車1台 タンク付消防車1台</p> <p>救急車1台 消防ポンプ自動車6台(団) 連絡車1台</p> <p>小型動力ポンプ付積載車8台(団) 小型動力ポンプ1台</p> <p>消防無線機(基地局1、移動局1、携帯2)</p>
昭和45年3月	日本損害保険協会より救急自動車1台寄贈
昭和45年4月	<p>金津町加入</p> <p>嶺北消防組合に金津町が加入する。</p> <p>嶺北金津消防署を開設し、組合の組織は1本部、2署の事務機構となる。</p> <p>消防職員定数改正消防吏員50名、事務職員2名、消防団員324名となる。</p> <p>消防自動車13台(団12台) 化学消防車1台 タンク付消防車1台</p> <p>救急車3台 連絡車2台 小型動力ポンプ付積載車8台</p> <p>小型動力ポンプ9台(団8台) 消防無線機(基地局2、移動局3、携帯4)</p> <p>初代嶺北金津消防署長に徳田忠信 就任</p>
7月	<p>福井空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定締結</p> <p>福井県(福井空港管理事務所)と嶺北消防組合における消火救難活動に関する協定締結</p>
10月	初代次長に木村 驥 就任
12月	<p>嶺北消防本部署庁舎竣工</p> <p>鉄筋コンクリート造3階建(一部鉄骨平屋建)</p> <p>敷地面積 514.86㎡ 建築面積 220.59㎡ 延面積 501.97㎡</p>
昭和46年4月	<p>3・8連続放火事件解決</p> <p>45年10月頃から福井市周辺で発生した連続放火事件は64件(管内15件)官民一体の強力な特別警戒で46年4月事件の解決をみた。</p>
6月	指揮車購入、本部に配置
11月	化学消防自動車購入、嶺北金津消防署に配置
昭和47年4月	<p>消防職員定数条例が改正され、消防吏員50名、事務職員4名となる。</p> <p>第二代嶺北金津消防署長に佐藤 廣 就任</p> <p>防火査察の強化に伴い赤バイ2台購入、各署へ配置</p>
5月	消防音楽隊結成、隊長以下15名 講師委託1名
8月	<p>嶺北消防組合章制定</p> <p>小型動力ポンプ積載車購入、金津第2分団に配置</p>

昭和47年8月	消防自動車の出動待機に関する協定締結 福井空港における航空機の事故等に対する消防体制強化のため化学消防自動車の出動待機依頼協定
昭和48年4月	赤バイ(50cc)1台購入、嶺北消防署に配置
10月	高速自動車国道北陸自動車道における消防および救急業務応援協定締結 協定市町村(加賀市、丸岡町、嶺北消防組合)
11月	嶺北金津消防署庁舎竣工 鉄筋コンクリート造3階建、車庫鉄骨造平屋建 敷地面積 1,910.65㎡ 建築面積 453.76㎡ 延面積 997.23㎡ 芦原ライオンズクラブ金津支部より赤バイ(50cc)1台寄贈される。 嶺北金津消防署に配置 福井空港災害特別警備に大型化学消防車購入、嶺北消防署に配置
昭和49年4月	第三代嶺北金津消防署長に伊藤良太 就任
10月	消防ポンプ自動車購入、金津第5分団に配置 小型動力ポンプ購入、春江第4分団に配置
昭和50年7月	小型動力ポンプ購入、嶺北消防署、坂井第4分団に配置
昭和51年6月	消防相互応援協定締結 嶺北消防組合と加賀市消防本部が防災体制の充実を図る為越県協定締結
7月	消防ポンプ自動車購入、嶺北金津消防署に配置 広報車購入、嶺北消防署に配置
昭和52年5月	小型動力ポンプ4台購入、坂井第1分団、坂井第2分団、坂井第3分団、坂井第4分団に配置
7月	小型動力ポンプ積載車購入、金津第4分団に配置 坂井郡消防相互応援協定締結 協定市町村(三国町、芦原町、丸岡町、嶺北消防組合)
12月	日本損害保険協会より救急自動車1台寄贈される。 嶺北消防組合消防本部署庁舎増改築工事落成 鉄筋コンクリート造3階建 敷地面積 657.90㎡ 建築面積 357.40㎡ 延面積 953.75㎡
昭和53年1月	第二代消防長に木村 驥 就任
昭和53年9月	小型動力ポンプ積載車購入、春江第3分団及び金津第7分団に配置
10月	日本防火協会より春江町連合婦人防火クラブに防火広報車1台寄贈される。
11月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈される。 嶺北消防署に配置
昭和54年3月	消防庁長官表彰(竿頭綬)
昭和54年6月	広報車購入、嶺北金津消防署に配置
8月	小型動力ポンプ積載車購入、春江第5分団に配置
9月	日本防火協会より救急車1台寄贈される。 嶺北消防署に配置

昭和55年9月	小型動力ポンプ購入、春江第2分団に配置
10月	小型動力ポンプ積載車購入、金津第6分団に配置 消防ポンプ自動車購入、坂井第4分団に配置
昭和56年1月	第二代嶺北消防署長に東 健一 就任 第四代嶺北金津消防署長に坪田 武 就任
2月	56豪雪(雪害対策本部設置) 日本消防協会より春江町連合婦人消防隊に軽可搬ポンプ1台寄贈される。
昭和56年6月	指揮車購入、嶺北消防署に配置
7月	56集中豪雨(水害対策本部設置)
9月	小型動力ポンプ購入、嶺北金津消防署に配置
昭和57年3月	救助工作車購入、嶺北消防署に配置
昭和57年5月	査察車購入、嶺北消防署に配置
8月	小型動力ポンプ購入、春江第3分団、金津第2分団、金津第8分団に配置
12月	積載車購入、嶺北消防署に配置
昭和58年12月	消防ポンプ自動車購入、金津第8、9分団に配置
昭和59年3月	日本自動車工業会より救急車(2B型)が寄贈される。
昭和59年4月	嶺北金津消防署に救助訓練塔を設置する。 第三代嶺北消防署長に木村 驥 就任 第五代嶺北金津消防署長に東 健一 就任
9月	嶺北消防組合職員定数条例が改正され、消防吏員57名となる。 北陸自動車道金津インターチェンジ供用開始に伴い、金津町熊坂に救急隊常駐の分所を開設、救急車1台を配備し高速道路における救急業務を開始する。
昭和60年1月	嶺北消防本部庁舎(別館)新築工事落成 鉄骨造3階建 敷地面積 783.25㎡ 建築面積193.35㎡ 延面積 566.88㎡
3月	消防ポンプ自動車(BD-I)購入、嶺北消防署に配置 嶺北消防署に救助訓練塔を設置する。
昭和60年8月	日本消防協会より救急車(2B型)が寄贈される。
昭和61年3月	消防庁長官表彰(表彰旗) 嶺北消防組合救急分所新築工事落成(金津町下金屋) 鉄骨造平屋建 敷地面積 567.0㎡ 建築面積 171.92㎡ 延面積 159.92㎡
昭和62年2月	消防ポンプ自動車(BD-I)購入、嶺北金津消防署に配置 消防ポンプ自動車(BD-I)購入、坂井第2分団、坂井第3分団に配置
昭和63年1月	消防科学総合センター(救急基金)より、救急車(2B型)が寄贈される。 嶺北金津消防署に配置
3月	消防ポンプ自動車(BD-I)購入、金津第3分団に配置 福井県市町村消防相互応援協定締結
昭和63年5月	福井県水防演習参加(春江・坂井・金津消防団参加)

昭和63年8月	日本損害保険協会より、水槽付き消防ポンプ自動車(A-I)寄贈される。 嶺北消防署に配置
10月	日本消防協会より、指令広報車、電源照明車寄贈される。 嶺北金津消防署、嶺北消防署に配置
昭和64年1月	春江町婦人消防隊、全国婦人消防操法大会に出場 水槽付き消防ポンプ自動車(A-I)購入、嶺北金津消防署に配置
平成元年4月	第二代次長に東 健一 就任 第四代嶺北消防署長に龍田清市 就任 第六代嶺北金津消防署長に多田健夫 就任
8月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、春江第1分団に配置 嶺北消防組合設立20周年記念防火音頭制定される。
10月	嶺北消防組合設立20周年記念式典挙行
11月	消防ポンプ自動車(BD-I)購入、春江第3分団に配置
平成2年2月	日本消防協会より春江消防団に対し、特別表彰『まとい章』が授与される。 嶺北消防組合職員定数条例改正、事務職員5名
平成2年8月	日本消防協会より救急車(2B型)が寄贈される。救急分所に配置 日本防火協会より広報車が寄贈される。嶺北消防署に配置
10月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第1分団に配置 マイクロバス(28人乗り)購入 消防本部に配置
平成3年1月	福井県農協共済福祉事業団より救急車(2B型)が寄贈される。 嶺北消防署に配置
3月	嶺北消防組合職員定数条例改正、12名増員、消防吏員69名
平成3年4月	第七代嶺北金津消防署長に道地善徳 就任
11月	小型動力ポンプ(C-I)3台購入 坂井第1分団、坂井第2分団、坂井第3分団に配置 消防ポンプ自動車(BD-I)3台購入 春江第2分団、春江第5分団、金津第7分団に配置
12月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、嶺北消防署に配置
平成4年4月	第三代消防長に東 健一 就任
10月	消防ポンプ自動車(BD-I)2台購入、春江第4分団、金津第1分団に配置
平成5年3月	嶺北消防組合職員定数条例改正、12名増員、消防吏員81名
平成5年4月	第三代次長に龍田清市 就任
12月	消防ポンプ自動車(BD-I)購入、金津第6分団に配置
平成6年2月	化学消防車2台購入、嶺北消防署、嶺北金津消防署に配置
平成6年4月	第五代嶺北消防署長に杉田道雄 就任 第八代嶺北金津消防署長に平田一郎 就任
8月	嶺北消防本部庁舎(別館)増改築工事落成 鉄骨造3階建 敷地面積 783.25㎡ 建築面積 292.39㎡ 延面積 665.92㎡

平成6年10月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
11月	積載車購入、嶺北消防署に配置
平成7年1月	阪神・淡路大震災救出活動に3隊12名派遣
平成7年4月	第四代消防長に春江町長の坪田俊治氏が就任 第九代嶺北金津消防署長に吉田照夫 就任 救急救命士1名誕生
10月	救急救命九州研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
平成8年2月	日本消防協会より春江消防団に対し、特別表彰「表彰旗」が授与される。
3月	日本損害保険協会より、高規格救急車が寄贈され、高度救命用資機材(心電図伝送受信装置等)を整備、嶺北消防署に配置 消防緊急通信指令システム導入 嶺北消防組合職員定数条例改正、消防吏員82名、事務職員4名
平成8年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
6月	連絡車購入、嶺北消防署に配置 救急救命士2名となる。
7月	福井県市町村消防総合応援協定締結(昭和63年応援協定については廃止)
10月	福井県防災航空隊発足に伴い、職員1名派遣
12月	消防ポンプ自動車(CD-I)2台購入、嶺北金津消防署と金津第8分団に配置 消防ポンプ自動車(BD-I)1台購入、坂井第4分団に配置 救急救命士3名となる。
平成9年1月	三国町安島沖に座礁したロシアタンカー「ナホトカ号」重油流出事故により、海岸に重油が漂着し、消防職・団員が回収作業にあたる。
3月	防災資機材を整備、各分団等に配置
平成9年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 第五代消防長に平田一郎 就任
6月	福井県市町村消防相互応援協定に関する覚書(丸岡町消防本部)
7月	連絡車購入、嶺北金津消防署に配置
11月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、嶺北金津消防署に配置 消防ポンプ自動車(BD-I)購入、金津第5分団に配置
12月	救急救命士4名となる。
平成10年1月	防災資機材を整備、各分団車庫等に配置
2月	指揮車購入、嶺北消防署に配置
3月	日本消防協会より救急車が寄贈され、嶺北金津消防署に配置
平成10年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
7月	指揮車購入、嶺北金津消防署に配置
8月	福井震災50周年に伴い、管内各町で防災訓練の実施
12月	救急救命士5名となる。
平成11年2月	嶺北消防本部庁舎(別館)増築工事落成 鉄骨造3階建 敷地面積 783.25㎡ 建築面積 331.73㎡ 延面積 705.26㎡

平成11年3月	はしご付き消防ポンプ自動車購入、嶺北消防署に配置
平成11年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
5月	組合設立30周年記念式典開催
12月	救急救命士6名となる。
平成12年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
12月	救急救命士7名となる。
平成13年4月	副消防長に杉田道雄 就任
	救急救命九州研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
7月	救助工作車購入、嶺北金津消防署に配置
12月	救急救命士8名となる。
平成14年4月	第六代嶺北消防署長に青柳利夫 就任
	第十代嶺北金津消防署長に小林幸典 就任
	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
12月	救急救命士9名となる。
平成15年4月	第六代消防長に吉田照夫 就任
	第四代次長に青柳利夫 就任
	第七代嶺北消防署長に小林幸典 就任
	第十一代嶺北金津消防署長に黒川又利 就任
	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
8月	福井県市町村消防相互応援協定に関する覚書(福井地区消防本部)
10月	福井空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定に基づく覚書(福井空港事務所)
12月	救急救命士10名となる。
平成16年1月	坂井郡消防相互応援協定の廃止
3月	金津町と芦原町の合併に伴い、あわら市となる。 嶺北消防組合に芦原町消防本部が加入する。 嶺北芦原消防署を開設し、組合の組織は1本部、3署、1分所の事務機構となる。 嶺北消防組合職員定数改正、消防吏員112名、事務職員4名、消防団員439名となる。 救急救命士14名となる。 初代嶺北芦原消防署長に坂井幹夫 就任 福井県市町村消防相互応援協定に関する覚書(三国町消防本部)
平成16年4月	福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成19年3月まで)
	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
7月	福井県を襲った豪雨による被災地を消防職・団員がボランティアとして復旧作業にあたる。
12月	救急救命士15名となる。
平成17年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
12月	救急救命士16名となる。
平成18年2月	日本消防協会より指令車が寄贈され、嶺北消防本部に配置

平成18年3月	<p>春江町、坂井町、丸岡町及び三国町の合併に伴い、坂井市となる。</p> <p>嶺北消防組合に丸岡町消防本部と三国町消防本部が加入する。</p> <p>嶺北丸岡消防署と嶺北三国消防署を開設し、組合の組織は1本部、5署、1分所の事務機構となる。</p> <p>嶺北消防組合職員定数改正、消防吏員202名、事務職員4名、消防団員773名となる。</p> <p>救急救命士32名となる。</p> <p>政策監に林田康廣 就任</p> <p>第十二代嶺北金津消防署長に坂井幹夫 就任</p> <p>第二代嶺北芦原消防署長に西端和雄 就任</p> <p>初代嶺北丸岡消防署長に山田忠雄 就任</p> <p>初代嶺北三国消防署長に木綿谷正夫 就任</p>
平成18年4月 9月 平成19年3月	<p>福井県消防学校に教官1名派遣(平成20年3月まで)</p> <p>救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)</p> <p>中型バス購入(42人乗り)、嶺北消防本部に配置</p> <p>能登半島地震に伴い、福井県緊急消防援助隊として、被災地(石川県輪島市)へ消防部隊・救助部隊の各一隊、延べ18名の職員を派遣</p>
平成19年4月 6月 10月 12月 平成20年2月 3月	<p>救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)</p> <p>福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成22年3月まで)</p> <p>救急救命士34名となる。</p> <p>指揮車購入、嶺北消防本部に配置</p> <p>消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第10分団に配置</p> <p>消防ポンプ自動車(CD-II)購入、嶺北消防署に配置</p> <p>高規格救急車購入、嶺北金津消防署に配置</p>
平成20年4月 6月 12月 平成21年1月	<p>政策監に小林幸典 就任</p> <p>第八代嶺北消防署長に西端和雄 就任</p> <p>第三代嶺北芦原消防署長に土田昭廣 就任</p> <p>福井震災60周年に伴い、大規模な組合総合訓練を坂井市にて実施</p> <p>日本消防協会より多機能型消防自動車が交付され、あわら第1分団に配置</p> <p>消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第9分団に配置</p> <p>消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第14分団に配置</p> <p>水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)購入、嶺北三国消防署に配置</p>
平成21年4月 5月 9月	<p>第七代消防長に小林幸典 就任</p> <p>第五代次長に西畑幹夫 就任</p> <p>第十三代嶺北金津消防署長に土田昭廣 就任</p> <p>第四代嶺北芦原消防署長に高嶋敏勝 就任</p> <p>第二代嶺北丸岡消防署長に大谷繁一 就任</p> <p>第二代嶺北三国消防署長に原 清実 就任</p> <p>救急救命士35名となる。</p> <p>救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)</p>

平成21年10月	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・近畿府県(2府7県)合同訓練を坂井市にて実施
	組合設立40周年記念式典開催
12月	水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)購入、嶺北消防署に配置
平成22年1月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第4分団に配置
	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第12分団に配置
3月	嶺北三国消防署耐震改修工事完成
平成22年4月	第六代次長に西端和雄 就任
	第九代嶺北消防署長に末廣義章 就任
	第五代嶺北芦原消防署長に東川順仁郎 就任
	第三代嶺北丸岡消防署長に松川隆作 就任
	福井県消防学校に教官1名派遣(平成24年3月まで)
	福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成25年3月まで)
12月	(財)救急振興財団より救急普及啓発広報車が寄贈される。
平成23年1月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第5分団に配置
2月	総務省消防庁より支援車I型が無償貸与される。
	嶺北消防本部移転改修工事完成
3月	高機能消防指令センター整備、高機能消防指令センター運用開始式
	東北地方太平洋沖地震発生に伴い、福井県緊急消防援助隊として、被災地(岩手県陸前高田市)へ、消火部隊・救急部隊・後方支援部隊の各1隊、延べ38名の職員を派遣
平成23年4月	第八代消防長に西端和雄 就任
	第七代次長に東川順仁郎 就任
	第十四代嶺北金津消防署長に吉村博樹 就任
	第六代嶺北芦原消防署長に山崎清春 就任
	第三代嶺北三国消防署長に山下巧太郎 就任
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
11月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第7分団に配置
	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第10分団に配置
12月	高規格救急車購入、嶺北消防署に配置
平成24年3月	高規格救急車購入、嶺北金津消防署救急分所に配置
平成24年4月	第八代次長に牧野吉文 就任
	第十五代嶺北金津消防署長に辻 義彦 就任
	第七代嶺北芦原消防署長に平川 稔 就任
	第四代嶺北丸岡消防署長に吉村博樹 就任
	あわら第2-3分団が、あわら第3分団に編入
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
10月	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を坂井市にて実施
11月	高規格救急車購入、嶺北三国消防署に配置

平成25年2月	水槽付消防ポンプ自動車購入、嶺北金津消防署に配置 日本損害保険協会より小型動力ポンプ付軽消防自動車が寄贈される。 日本消防協会より防災活動車(軽自動車)が寄贈される。
3月	嶺北消防組合嶺北あわら消防署庁舎落成式(あわら市花乃杜) 本庁舎 鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階 敷地面積 6,289.72㎡ 建築面積 1,034.95㎡ 延面積 2,369.63㎡ 主訓練塔 鉄筋コンクリート造 地上5階 建築面積 83.05㎡ 延面積 288.59㎡ 補助訓練塔 鉄骨造 地上2階 建築面積 23.20㎡ 延面積 40.02㎡ 車庫 鉄骨造 平屋建て 建築面積 120.15㎡ 延面積 115.70㎡ 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第3分団に配置
平成25年4月	嶺北あわら消防署を開設し、1本部、4署、2分所の事務機構となる。 第九代消防長に牧野吉文 就任 第九代次長に山下巧太郎 就任 第十代嶺北消防署長に川嶋 勇 就任 初代嶺北あわら消防署長に川崎 正 就任 第五代嶺北丸岡消防署長に北 乙和 就任 第四代嶺北三国消防署長に津田英男 就任 福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成28年3月まで)
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 福井県小浜市を襲った台風18号による被災地を消防職員がボランティアとして復旧作業にあたる。
10月	災害派遣用消防人員搬送車購入、嶺北消防本部に配置
11月	本部指揮車購入、嶺北消防本部に配置
12月	高規格救急車購入、嶺北丸岡消防署に配置
平成26年2月	総務省消防庁より、小型動力ポンプ付軽消防自動車が無償貸与される。
3月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第1分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第8分団に配置
平成26年4月	第十代次長に南 乃利男 就任 第十一代嶺北消防署長に北 乙和 就任 第六代嶺北丸岡消防署長に高橋真三 就任 第五代嶺北三国消防署長に篠崎謙一 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
5月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第13分団に配置
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
12月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第9分団に配置
平成27年3月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第7分団に配置

平成27年3月	<p>消防救急自動車を購入、嶺北あわら消防署救急分所に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第6分団に配置 消防救急デジタル無線整備工事完成、運用開始 基地局 4ヶ所 (本部基地局・あわら消防署基地局・安島基地局・竹田基地局) 嶺北消防署移転改修工事完成 建築面積 1,405.59㎡ 延面積 2,379.90㎡ 事務所部分 鉄筋コンクリート造2階(春江総合支所改修部分) 建築面積 490.02㎡ 延面積 971.92㎡ 車庫部分 鉄骨造2階建て及び訓練塔(新築工事部分) 建築面積 915.57㎡ 延面積 1,407.98㎡</p>
平成27年4月	<p>嶺北あわら消防署芦原分所を閉所し、1本部、4署、1分所の事務機構となる。 第七代嶺北丸岡消防署長に東川定信 就任 第六代嶺北三国消防署長に松永国雄 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)</p>
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
平成28年2月	<p>消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第17分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第18分団に配置</p>
3月	水槽付消防ポンプ自動車(I-B)購入、嶺北丸岡消防署に配置
平成28年4月	<p>第十代消防長に南 乃利男 就任 第十一代次長に桑野功吉 就任 第十二代嶺北消防署長に熊谷 清 就任 第二代嶺北あわら消防署長に土田照章 就任 第八代嶺北丸岡消防署長に大西郁也 就任 第七代嶺北三国消防署長に青木 悟 就任 福井県消防学校に教官1名派遣(平成31年3月まで) 福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成31年3月まで) 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)</p>
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
11月	日本損害保険協会より高規格救急車が寄贈され、嶺北丸岡消防署に配置
12月	<p>嶺北三国消防署庁舎改修工事完成(訓練塔2棟新設) 化学消防ポンプ自動車(II型)購入、嶺北消防署に配置</p>
平成29年2月	<p>嶺北あわら消防署救急分所改修工事完成 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第2分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第11分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第16分団に配置</p>
平成29年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
8月	<p>嶺北消防組合嶺北丸岡消防署庁舎落成式(坂井市丸岡町愛宕) 本庁舎 鉄骨造 地上3階 敷地面積 7,793.36㎡ 建築面積 1,197.11㎡ 延面積 1,841.72㎡</p>

平成29年8月	訓練塔 鉄筋コンクリート造 地上4階 建築面積 164.01㎡ 延面積 415.81㎡
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
12月	指揮車購入、嶺北消防署に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第3分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第6分団に配置
平成30年1月	高規格救急車購入、嶺北三国消防署に配置
2月	北陸地方を中心に大雪に見舞われる。国道8号線にトラックなどの車両多数が立ち往生し、福井県知事要請のもと自衛隊が派遣される。
平成30年4月	第十一代消防長に桑野功吉 就任 第十二代次長に熊谷 清 就任 第十三代嶺北消防署長に瀬戸廣之 就任 第三代嶺北あわら消防署長に青木 悟 就任 第八代嶺北三国消防署長に山崎敏郎 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
12月	指揮車購入、嶺北三国消防署に配置
平成31年1月	日本消防協会より防災活動車が寄贈される。
2月	化学消防ポンプ自動車(II型)購入、嶺北あわら消防署に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第8分団に配置 大型化学高所放水車購入、嶺北三国消防署に配置 総務省消防庁より消防ポンプ自動車(CD-I)が無償貸与され、あわら第5分団に配置
平成31年4月	第十三代次長に瀬戸廣之 就任 第十四代嶺北消防署長に山崎敏郎 就任 第九代嶺北三国消防署長に林 延行 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 福井県防災航空隊に職員1名派遣(令和4年3月まで)
令和元年9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
10月	組合設立50周年記念式典開催
令和2年2月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第1分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第4分団に配置
3月	泡原液搬送車購入、嶺北三国消防署に配置
令和2年4月	第十二代消防長に瀬戸廣之 就任 第十四代次長に山崎敏郎 就任 第十五代嶺北消防署長に大西郁也 就任 第四代嶺北あわら消防署長に蒲生泰弘 就任 第九代嶺北丸岡消防署長に青木 悟 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)

令和2年12月 令和3年1月 3月	指揮車購入、嶺北あわら消防署に配置 北陸地方を中心に大雪に見舞われる。国道8号線や北陸自動車道にトラックなどの車両が多数立ち往生し、福井県知事要請のもと自衛隊が派遣される。 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第19分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第20分団に配置 高機能消防指令システム更新整備
令和3年4月 7月 9月 12月 令和4年1月 3月	第十三代消防長に山崎敏郎 就任 第十五代次長に蒲生泰弘 就任 第五代嶺北あわら消防署長に小西俊広 就任 第十代嶺北三国消防署長に佐藤洋一 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 高規格救急車購入、嶺北消防署に配置 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、三国消防署に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第21-2分団に配置 嶺北消防組合職員定数条例改正、消防職員206名となる。(休職等定数除外)
令和4年4月 9月 令和5年2月 3月	第十四代消防長に蒲生泰弘 就任 第十六代次長に大西郁也 第十七代次長に佐藤洋一 就任 第十六代嶺北消防署長に竹内 順 就任 第十代嶺北丸岡消防署長に米倉博人 就任 第十一代嶺北三国消防署長に青木 悟 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 福井県消防学校に教官1名派遣(令和7年3月まで) 福井県防災航空隊に職員1名派遣(令和7年3月まで) 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 高規格救急車購入、嶺北あわら消防署に配置 30m級伸縮水路管付先端屈折はしご車購入、嶺北あわら消防署に配置 総務省消防庁より連絡車が無償貸与され、嶺北三国消防署に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第22分団に配置
令和5年4月 7月 9月 12月 令和6年1月 2月 3月	第十八代次長に道見和彦 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 総務省消防庁より小型救助車が無償貸与され、嶺北丸岡消防署に配置 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、嶺北あわら消防署に配置 救助工作車購入、嶺北丸岡消防署に配置 能登半島地震発生に伴い、福井県緊急消防援助隊として、被災地(石川県珠洲市)へ指揮隊・消火小隊・救助小隊・後方支援小隊、延べ27名の職員を派遣 総務省消防庁より連絡車が無償貸与され、嶺北あわら消防署に配置 一般市民の寄付金により連絡車2台を購入、嶺北消防署、嶺北三国消防署に配置

令和6年3月	嶺北消防組合職員定数条例改正、消防職員218名となる。(12名増員) 消防音楽隊解散 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第23分団に配置
令和6年4月	第十五代消防長に米倉博人 就任 第十九代次長に小西俊広 就任 第六代嶺北あわら消防署長に山崎由之 就任 第十一代嶺北丸岡消防署長に道見和彦 就任 第十二代嶺北三国消防署長に高島一幸 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
令和6年9月	奥能登豪雨に伴い、福井県緊急消防援助隊として、被災地(石川県珠洲市、能登町及び輪島市)へ消火小隊・特殊装備小隊・後方支援小隊、延べ24名の職員を派遣
令和7年2月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第15分団に配置
3月	消防ポンプ自動車(CD-II)購入、嶺北あわら消防署に配置 化学消防ポンプ自動車(II型)購入、嶺北丸岡消防署に配置
令和7年4月	第二十代次長に竜田憲一 就任 第十三代嶺北三国消防署長に高戸和幸 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 福井県防災安全部消防保安課に職員1名派遣(令和9年3月まで) 福井県防災航空隊に職員1名派遣(令和10年3月まで)



消防情勢

消防庁舎の所在地

<p>嶺北消防本部</p> <p>所在地 坂井市春江町随応寺第17号10番地 (坂井市役所春江支所 4階)</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造4階建</p> <p>延面積 990.00㎡</p> <p>竣工 平成23年3月5日</p> <p>T E L (0776) 51-0119</p> <p>F A X (0776) 51-5209</p>	
<p>嶺北消防署</p> <p>所在地 坂井市春江町随応寺第17号10番地</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造2階、鉄骨造2階建</p> <p>建築面積 1,405.59㎡</p> <p>延面積 2,379.90㎡</p> <p>敷地面積 14,356.34㎡</p> <p>竣工 平成27年4月1日</p> <p>T E L (0776) 51-0911</p> <p>F A X (0776) 51-2689</p>	
<p>嶺北あわら消防署</p> <p>所在地 あわら市花乃杜五丁目2番3号</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造地上2階、地下1階建</p> <p>建築面積 1,034.95㎡</p> <p>延面積 2,369.63㎡</p> <p>敷地面積 6,289.72㎡</p> <p>竣工 平成25年4月1日</p> <p>T E L (0776) 73-0119</p> <p>F A X (0776) 73-5195</p>	
<p>救急分所</p> <p>所在地 あわら市下金屋29字23の50</p> <p>構造 鉄骨造平屋建</p> <p>建築面積 171.92㎡</p> <p>延面積 159.92㎡</p> <p>敷地面積 567.00㎡</p> <p>竣工 昭和61年3月(改修:平成29年2月)</p> <p>T E L (0776) 75-2119</p>	

嶺北丸岡消防署

所在地 坂井市丸岡町愛宕1番1

構造 鉄骨造3階建

建築面積 1,197.11㎡

延面積 1,841.72㎡

敷地面積 7,793.36㎡

竣工 平成29年8月

T E L (0776) 66-0119

F A X (0776) 67-0757



嶺北三国消防署

所在地 坂井市三国町中央一丁目1番36号

構造 鉄筋コンクリート造3階建、鉄骨造2階建

建築面積 1,158.24㎡

延面積 2,114.62㎡

敷地面積 4,335.09㎡

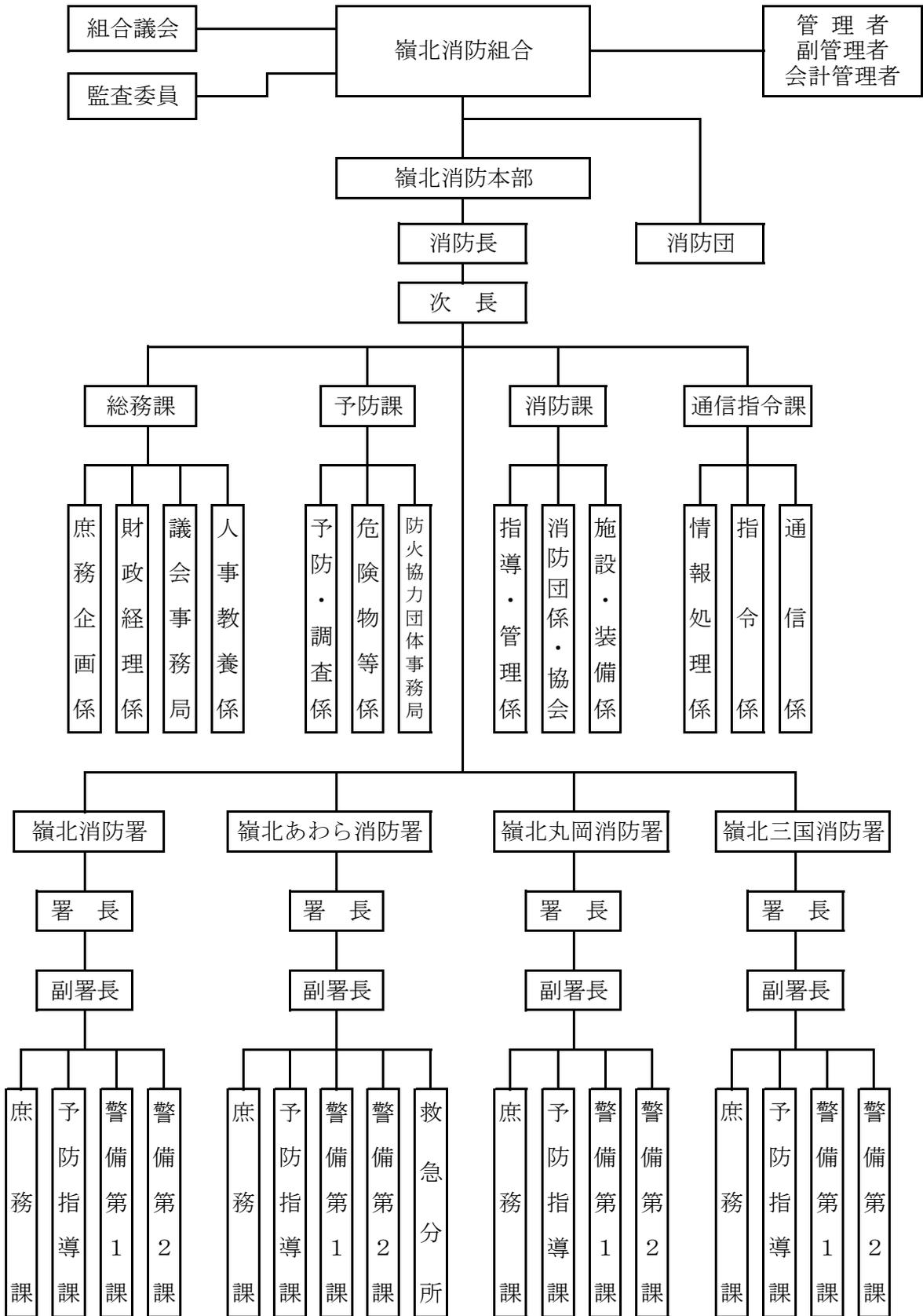
竣工 昭和50年4月(改修:平成28年12月)

T E L (0776) 82-6119

F A X (0776) 82-5499



嶺北消防組合組織機構図



令和7年度 嶺北消防組合当初予算

1. 歳入

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 分担金及び負担金	2,274,500	2,167,232	107,268
2. 使用料及び手数料	6,277	7,830	△1,553
3. 国庫支出金	0	0	0
4. 県支出金	36,902	36,902	0
5. 財産収入	414	315	99
6. 繰入金	0	0	0
7. 繰越金	2	2	0
8. 諸収入	12,505	13,719	△1,214
9. 組合債	86,500	205,000	△118,500
合計	2,417,100	2,431,000	△13,900

2. 歳出

(単位：千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1. 議会費	495	1,655	△1,160				495
2. 総務費	4,650	4,544	106			114	4,536
3. 消防費	2,240,820	2,270,496	△29,676			19,082	2,221,738
4. 公債費	170,835	154,005	16,830				170,835
5. 予備費	300	300	0				300
合計	2,417,100	2,431,000	△13,900	0	0	19,196	2,397,904

3. 分担金の内訳

(単位：千円)

区分 市名	各市 当初予算額 (A)	各市 分担金 (B)	比率 $\frac{B}{A} \times 100 (\%)$	分担金の内訳	
				特別的経費	共通的経費
あわら市	17,430,000	593,918	3.41	78,743	515,175
坂井市	48,715,000	1,680,582	3.45	190,016	1,490,566
合計	66,145,000	2,274,500	3.44	268,759	2,005,741

消防職員状況

1. 消防職員の配置状況

(令和7年4月1日現在)

区分	階級	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
消防本部		47(1)	1	1	4	12	11	6	4	7	1(1)
嶺北消防署		38(3)		1		8	7	9	5(1)	8(2)	
嶺北あわら消防署		44(2)			1	10	9	9	10(2)	5	
嶺北丸岡消防署		37(2)		1		8	7	6	9(2)	6	
嶺北三国消防署		39(2)			1	9	8	10	6	5(2)	
合計		205(10)	1	3	6	47	42	40	34(5)	31(4)	1(1)

2. 消防職員年齢状況

(令和7年4月1日現在)

区分	階級	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
18歳～20歳		4(2)								4(2)	
21歳～25歳		25(2)							2(1)	23(1)	
26歳～30歳		27(4)						2	21(3)	4(1)	
31歳～35歳		27(1)						17	10(1)		
36歳～40歳		28					13	14	1		
41歳～45歳		18				1	13	4			
46歳～50歳		25(1)				15	7	2			1(1)
51歳～55歳		35			2	24	8	1			
56歳以上		16	1	3	4	7	1				
合計		205(10)	1	3	6	47	42	40	34(5)	31(4)	1(1)

3. 消防職員勤続年数

(令和7年4月1日現在)

区分	階級	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
2年未満		11(1)								11(1)	
2年以上		13(2)								13(2)	
5年以上		30(4)						2	21(3)	7(1)	
10年以上		31(2)					3	15	13(2)		
15年以上		33					16	17			
20年以上		14				3	8	3			
25年以上		15				8	6	1			
30年以上		41(1)			1	28	9	2			1(1)
35年以上		17	1	3	5	8					
合計		205(10)	1	3	6	47	42	40	34(5)	31(5)	1(1)

※()は女性消防職員数

4. 消防職員教養等実施状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

区分		階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計		
福 井 県 消 防 学 校	初任教育							4(1)	4		
	幹部教育	初級幹部科	隔年実施のため令和6年度実施なし							0	
		中級幹部科			2					2	
		上級幹部科		2						2	
	専 科 教 育	警防科					4			4	
		特殊災害科	隔年実施のため令和6年度実施なし							0	
		予防査察科						2(1)		2	
		危険物科	隔年実施のため令和6年度実施なし							0	
		火災調査科			1	2	1			4	
		救助科					1	3		4	
		救急科						4	3(1)	7	
		特別教育	水難救助科						1	1	2
			操法指導員教育			4					4
	起震車操作員教育				1	3				4	
	小計		0	2	8	10	11	8	39		
	消防大学校入校			1	1					2	
救急救命研修所							1		1		
資 格 ・ 講 習 等	小型移動式クレーン運転					4			4		
	玉掛け技能講習					4			4		
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者			4					4		
	第三級陸上特殊無線技士			1					1		
	消防・救急自動車運転技能研修								0		
	第2種衛生管理者 安全衛生推進者								0		
小計		0	1	6	8	1	0	16			
合計		0	3	14	18	12(1)	8(2)	55			

※()は女性消防吏員数

消 防 施 設

1. 消防機械

(令和7年4月1日現在)

所属	名 称	登録年	メーカー		級 別	登録番号	無線呼出名称
			シャーシ	ポンプ			
本 部	嶺北本部指揮1	平成25年	トヨタ			830 さ 2013	れいほくほんぶしき1
	嶺北本部指令1	平成19年	マツダ			800 さ 5645	れいほくほんぶしれい1
	嶺北本部支援1	平成23年	日 野			800 は 869	れいほくほんぶしえん1
	救急啓発広報車	平成22年	ニッサン			800 さ 7024	
	マイクロバス	平成25年	トヨタ			230 さ 2013	
	組合バス	平成18年	ニッサン			200 は 173	
	本部連絡1	平成23年	トヨタ			500 ゆ 8017	
	本部連絡2	平成29年	ダイハツ			580 ほ 2835	
	本部連絡4	平成24年	ダイハツ			480 き 3217	
	本部搬送車	平成 6年	トヨタ			88 な 7675	
	本部連絡車	平成25年	ニッサン			880 あ 625	
	嶺 北 消 防 署	嶺北指揮1	平成29年	トヨタ			800 さ 9892
嶺北1		平成21年	日 野	日本機械	A-2	830 さ 2010	れいほく1
嶺北2		平成20年	日 野	モリタ	A-2	830 す 2008	れいほく2
嶺北化学1		平成28年	いすゞ	ドライケミカル	A-2	830 せ 2016	れいほくかがく1
嶺北梯子1		平成18年	日 野	日本機械	25m	800 は 503	れいほくはしご1
嶺北救急1		平成23年	トヨタ		高規格	830 せ 2011	れいほくきゅうきゅう1
嶺北救急2		令和 3年	トヨタ		高規格	800 す 1525	れいほくきゅうきゅう2
嶺北連絡1		令和 6年	スズキ			800 す 2555	れいほくれんらく1
嶺北軽消1		平成25年	スズキ			880 あ 621	れいほくけいしょう1
嶺北搬送1	平成26年	いすゞ			800 さ 8373	れいほくはんそう1	
嶺 北 あ わ ら 消 防 署	あわら指揮1	令和 2年	三 菱			800 す 1207	あわらしき1
	あわら1	平成25年	日 野	モリタ	A-2	830 そ 2012	あわら1
	あわら2	令和 7年	日 野	モリタ	A-2	800 は 2439	あわら2
	あわら化学1	平成31年	日 野	日本機械	A-2	800 は 1792	あわらかがく1
	あわら梯子1	令和 5年	日 野	モリタ	30m	800 は 2267	あわらはしご1
	あわら救急1	平成24年	トヨタ		高規格	830 さ 2012	あわらきゅうきゅう1
	あわら救急2	令和 5年	トヨタ		高規格	800 す 2140	あわらきゅうきゅう2
	あわら連絡1	平成11年	三 菱			800 さ 171	あわられんらく1
	あわら連絡2	令和 6年	ニッサン			800 す 2530	あわられんらく2
あわら搬送1	平成26年	いすゞ			800 さ 8372	あわらはんそう1	
救急分所	あわら4	平成27年	トヨタ	モリタ	A-2	800 さ 8720	あわら4

所属	名 称	登録年	メーカー		級 別	登録番号	無線呼出名称
			シャーシ	ポンプ			
嶺北丸岡消防署	丸岡指揮1	平成30年	スバル			800 す 299	まるおかしき1
	丸岡1	平成28年	日野	長野	A-2	830 た 2015	まるおか1
	丸岡2	令和 5年	日野	長野	A-2	800 す 2389	まるおか2
	丸岡化学1	令和 7年	日野	モリタ	A-2	800 は 2437	まるおかがく1
	丸岡救助1	令和 5年	日野			800 は 2340	まるおかきゅうじょ1
	丸岡救急1	平成25年	ニッサン		高規格	800 さ 8181	まるおかきゅうきゅう1
	丸岡救急2	平成28年	ニッサン		高規格	800 つ 9467	まるおかきゅうきゅう2
	丸岡連絡1	平成10年	トヨタ			88 な 9838	まるおかれんらく1
	丸岡軽消1	平成26年	ダイハツ			880 あ 694	まるおかけいしょう1
	丸岡搬送1	平成17年	トヨタ			800 さ 4709	まるおかはんそう1
	丸岡小型救助1	令和 5年	カワサキ			900 さ 438	まるおかがたきゅうじょ1
嶺北三国消防署	三国指揮1	平成30年	三菱			800 す 312	みくにしき1
	三国1	平成20年	日野	モリタ	A-2	830 さ 2009	みくに1
	三国2	平成17年	日野	長野	A-2	800 さ 4255	みくに2
	三国3	令和 3年	トヨタ	モリタ	A-2	800 す 1675	みくに3
	三国泡タンク1	令和 2年	日野	モリタ		800 は 1923	みくにあわたんく1
	三国大化高1	平成31年	日野	モリタ	A-1	800 は 1793	みくにだいかこう1
	三国救助1	平成13年	日野	日本機械		830 せ 2001	みくにきゅうじょ1
	三国救急1	平成24年	ニッサン		高規格	800 さ 7758	みくにきゅうきゅう1
	三国救急2	平成30年	トヨタ		高規格	800 さ 9955	みくにきゅうきゅう2
	三国連絡1	令和 6年	スズキ			800 す 2556	みくにれんらく1
	三国連絡2	令和 5年	ニッサン			800 す 2206	みくにれんらく2
三国搬送1	平成14年	日野			800 さ 2360	みくにはんそう1	

2. 現有消防水利

(令和7年4月1日現在)

水利別		市別		
		あわら市	坂井市	合計
公設 防火水槽	20m ³ 以上40m ³ 未満	35	43	78
	40m ³ 以上50m ³ 未満	285 (耐震 53)	640 (耐震 217)	925 (耐震 270)
	50m ³ 以上	11 (耐震 1)	53 (耐震 17)	64 (耐震 18)
	小計	331 (耐震 54)	736 (耐震 234)	1,067 (耐震 288)
公設 消火栓	100mm以上150mm未満	642	1,693	2,335
	150mm以上200mm未満	414	713	1,127
	200mm以上250mm未満	81	190	271
	250mm以上	48	177	225
	小計	1,185	2,773	3,958
プール		15	16	31
合計		1,531	3,525	5,056

水利別		市別		
		あわら市	坂井市	合計
私設 防火水槽	20m ³ 以上40m ³ 未満	4	20	24
	40m ³ 以上	51	210	261
	合計	55	230	285



予防関係

建 築

1. 月別建築同意件数

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

署別	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
嶺北消防署		2	7	6	3	6		3	2		8	3	3	43
嶺北あわら消防署		1	1	4	6	4	2	4	2	1	1	5	2	33
嶺北丸岡消防署		1	11	3	4	2		3	9	3	2	6	4	48
嶺北三国消防署		2	2	6	2	2		3	1	2	3	1	5	29
合 計		6	21	19	15	14	2	13	14	6	14	15	14	153

2. 用途別建築同意件数

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

対象物項別		工事種別	新築	増築	改築	移転	用途変更	修模	その他	合計
1	イ	劇場・映画館等								0
	ロ	集会場等								0
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等								0
	ロ	遊技場・ダンスホール		2						2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等								0
	ニ	カラオケボックスその他個室店舗等								0
3	イ	待合・料理店等								0
	ロ	飲食店		1						1
4		百貨店・マーケット等	5	1						6
5	イ	旅館・ホテル等	2	1						3
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	9							9
6	イ	病院・診療所等	3							3
	ロ	老人短期入所施設等	1							1
	ハ	老人デイサービスセンター等	1							1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等								0
7		学校等	2							2
8		図書館・博物館等								0
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1							1
	ロ	上記以外の公衆浴場								0
10		車両の停車場等								0
11		神社・寺院・教会等	1							1
12	イ	工場・作業場	14	13						27
	ロ	映画スタジオ等								0
13	イ	自動車車庫・駐車場	3	4						7
	ロ	飛行機等の格納庫								0
14		倉庫	15	10		1				26
15		前記各項に該当しない事業場	27	7						34
16	イ	特定複合用途対象物	4	1						5
	ロ	上記以外の複合用途対象物								0
17		重要文化財建造物								0
		専用住宅	4							4
		併用住宅								0
		危険物製造所等	2	2						4
		その他	16							16
合 計			110	42	0	1	0	0	0	153

防 火 対 象 物 数

(令和7年4月1日現在)

対象物項別		区分	法 第 17 条 対 象 物					法 第 8 条 対 象 物				
			小 計	嶺 北 消防署	嶺 北 あ わ ら 消防署	嶺 北 丸 岡 消防署	嶺 北 三 国 消防署	小 計	嶺 北 消防署	嶺 北 あ わ ら 消防署	嶺 北 丸 岡 消防署	嶺 北 三 国 消防署
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館	8		1	1	6	5		1	1	3
	ロ	集 会 場 等	313	116	73	96	28	38	11	9	9	9
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	1				1	1				1
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	1	2	4	4	7	1	2	3	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店等	0					0				
	ニ	カラオケボックスその他個室店等	1	1				1	1			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	8	1	2	3	2	6	1	2	3	
	ロ	飲 食 店	177	50	32	40	55	87	36	14	20	17
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	209	68	36	55	50	118	47	23	27	21
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	135		49	12	74	53		28	5	20
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	580	152	166	171	91	30	5	7	8	10
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	69	18	22	19	10	14	3	4	6	1
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	29	7	8	12	2	18	7	5	6	
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	143	48	32	46	17	82	29	19	24	10
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	8			8		2			2	
7		学 校 等	65	18	18	11	18	41	11	12	11	7
8		図 書 館 ・ 博 物 館 等	17	1	2	6	8	8	1	3	2	2
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	0					0				
	ロ	上 記 以 外 の 公 衆 浴 場	3	1	1		1	2	1			1
10		車 両 の 停 車 場 等	6	3	3			2	1		1	
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	122	18	49	15	40	50	13	26	4	7
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	1,173	361	300	329	183	70	20	17	21	12
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等	0					0				
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	82	25	35	12	10	0				
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫	5	5				0				
14		倉 庫	733	254	250	95	134	2		1	1	
15		前 記 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	665	193	124	158	190	105	28	26	31	20
16	イ	特 定 複 合 用 途 対 象 物	366	94	120	78	74	172	44	54	42	32
	ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物	168	67	41	43	17	16	6	7	2	1
17		重 要 文 化 財 建 造 物	3			2	1	1				1
合 計			5,083	1,502	1,366	1,216	1,016	931	266	260	229	176

消防用設備等設置状況

(令和7年4月1日現在)

区分 項別	自動火災報知設備					非常警報設備					
	設置棟数					設置棟数					
	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	
1	イ	6		1		5	4				4
	ロ	39	9	13	9	8	84	46	5	11	22
2	イ	0					1				1
	ロ	8	1	2	2	3	7	1	2	2	2
	ハ	0					0				
	ニ	1	1				1	1			
3	イ	7	1	2	3	1	0				
	ロ	23	5	5	3	10	38	20	6	6	6
4		98	38	17	24	19	46	18	6	13	9
5	イ	134		50	11	73	33		29		4
	ロ	88	18	23	30	17	26	12		6	8
6	イ	37	5	14	12	6	11	3	5	3	
	ロ	30	7	8	13	2	5	3	2		
	ハ	102	31	24	34	13	4	3	1		
	ニ	8			8		0				
7		57	15	15	11	16	15	4	7		4
8		11	1	2	4	4	4	1	1		2
9	イ	0					0				
	ロ	2	1			1	0				
10		3	1	2			0				
11		13		6	2	5	26	7	13	1	5
12	イ	635	209	156	179	91	5	1		4	
	ロ	0					0				
13	イ	12		8	2	2	1		1		
	ロ	5	5				0				
14		226	91	58	32	45	0				
15		160	34	47	38	41	43	13	8	11	11
16	イ	177	40	55	43	39	48	9	20	10	9
	ロ	45	19	11	10	5	5	3	2		
17		3			2	1	0				
合計		1,930	532	519	472	407	407	145	108	67	87

(令和7年4月1日現在)

区分 項別		スプリンクラー設備					屋内消火栓設備				
		設置棟数					設置棟数				
		小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署
1	イ	1				1	0				
	ロ	0					9	3	1	4	1
2	イ	0					0				
	ロ	2				2	3	1	1	1	
	ハ	0					0				
	ニ	0					0				
3	イ	0					1			1	
	ロ	0					2			2	
4		8	5		2	1	20	6	4	6	4
5	イ	11		10		1	38		33	2	3
	ロ	0					5	1		2	2
6	イ	7	1	3	2	1	4	1	1	2	
	ロ	27	7	6	12	2	2	1	1		
	ハ	0					17	4	6	5	2
	ニ	0					3			3	
7		0					47	11	14	10	12
8		0					4	1	1	1	1
9	イ	0					0				
	ロ	0					0				
10		0					3	1	2		
11		0					5		3	1	1
12	イ	0					251	89	70	59	33
	ロ	0					0				
13	イ	0					1		1		
	ロ	0					0				
14		0					74	35	15	12	12
15		1			1		48	7	16	16	9
16	イ	25	6	7	6	6	26	5	14	5	2
	ロ	1		1			16	9	3	4	
17		0					0				
合計		83	19	27	23	14	579	175	186	134	84

(令和7年4月1日現在)

区分 項別		避難器具設備				誘導灯					
		設置棟数				設置棟数					
		小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署
1	イ	1				1	8		1	1	6
	ロ	4	1		2	1	232	88	14	89	41
2	イ	0					1				1
	ロ	0					10	1	2	4	3
	ハ	0					0				
	ニ	1	1				1	1			
3	イ	1			1		8	1	2	3	2
	ロ	0					133	44	25	34	30
4		3		1	1	1	194	67	33	54	40
5	イ	29		18	2	9	123		49	11	63
	ロ	77	21	10	45	1	19	9	2	6	2
6	イ	9	1	3	5		68	17	22	19	10
	ロ	7	3	1	3		30	7	8	13	2
	ハ	11	1	5	3	2	138	48	30	45	15
	ニ	1			1		8			8	
7		39	9	10	11	9	1		1		
8		2			1	1	4				4
9	イ	0					0				
	ロ	0					3	1	1		1
10		0					0				
11		0					4		1	1	2
12	イ	9	2		5	2	50	7	31	4	8
	ロ	0					0				
13	イ	0					3	1	1	1	
	ロ	0					0				
14		1				1	64	16	21	14	13
15		13	2	2	9		109	16	32	31	30
16	イ	43	7	12	14	10	291	72	87	68	64
	ロ	10	3	1	4	2	17	5	1	7	4
17		0					0				
合計		261	51	63	107	40	1,519	401	364	413	341

危 険 物

1. 危険物施設設置状況

(令和7年4月1日現在)

区分 署別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	移 送	給 油	販 売	一 般	
嶺北消防署		24	18	2	16		24			15		24	123
嶺北あわら消防署	4	22	21	6	49	1	6	7		23		41	180
嶺北丸岡消防署	2	7	10	1	41		27	1		22		18	129
嶺北三国消防署	28	53	143	3	46		47	14	2	21		76	433
合 計	34	106	192	12	152	1	104	22	2	81	0	159	865

2. 危険物関係事務処理状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

区分 署別	合 計	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	完 成 検 査 申 請	水 張 検 査	水 圧 検 査	溶 接 部 検 査	基 礎 地 盤 検 査	保 安 検 査	認 可 申 請	仮 取 扱 承 認 貯 蔵 申 請	譲 渡 引 渡 届 出	危 険 物 取 扱 者 届 出	住 所 ・ 名 称 等 変 更 届 出	廃 止 届 出	保 安 監 督 者 選 解 任 届 出	品 名 ・ 数 量 変 更 届 出	少 量 危 険 物 タンク 検 査	危 険 作 業 届 出	休 止 変 更 届 出	再 交 付 申 請
		嶺北消防署	90	2	6	8						8	2	2	15	15	4	10			16
嶺北あわら消防署	160	2	17	19							17	3	10	9	10	26	3		35	5	4
嶺北丸岡消防署	199	2	19	20	17	7				5	27	2	13	25	1	17		1	41	2	
嶺北三国消防署	643	6	71	75	1	1	1			120	74	1	39	60	5	42	22		120	1	4
合 計	1,092	12	113	122	18	8	1	0	0	133	120	8	77	109	20	95	25	1	212	9	9

3. 消防手数料徴収状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)(単位:千円)

区分 署別	合 計	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	完 成 検 査 申 請	水 張 検 査 申 請	水 圧 検 査 申 請	溶 接 部 検 査 申 請	基 礎 地 盤 検 査 申 請	流 出 油 等 防 止 堤 等 査	保 安 検 査 申 請	仮 承 認 貯 蔵 取 扱 申 請	り 災 証 明	少 量 危 険 物 タンク 証 明	そ の 他 の 証 明	煙 火 消 費
		嶺北消防本部	40												
嶺北消防署	414	118	150	134							11	1			
嶺北あわら消防署	774	78	384	218							92	2			
嶺北丸岡消防署	1,119	52	524	275	87	28					146	1	6		
嶺北三国消防署	4,342	150	2,355	1,096	24	6	265		46		400				
合 計	6,689	398	3,413	1,723	111	34	265	0	46	0	649	4	6	0	40

各種届出処理状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

区分	署別				合計
	嶺北消防署	嶺北あわら消防署	嶺北丸岡消防署	嶺北三国消防署	
防火対象物使用届出	44	40	47	47	178
火を使用する設備等の設置(変更)届出	4	32	18	17	71
電気設備設置届出	8	13	19	27	67
水素ガスを充填する気球の設置届出	1		1		2
少量危険物、指定可燃物の貯蔵取扱届出	10	34	11	32	87
煙火打上げ、仕掛け届出	7		6		13
催物開催届出				1	1
火災とまぎらわしい煙等を発する行為等の届出	35	105	16	23	179
水道・用排水路の断水又は減水届出		3	4	1	8
道路工事又は露天の開設届出	162	261	150	94	667
露店等の開設届出	66	27	31	60	184
消防計画届出	79	48	45	33	205
防火管理者選(解)任届出	69	39	63	46	217
圧縮アセチレンガス、液化石油ガス貯蔵取扱届出	6	3	7	4	20
合計	491	605	418	385	1,899

防火管理資格付与講習会実施状況

年別	區別	講習修了者数(人)				合計
		嶺北消防署	嶺北あわら消防署	嶺北丸岡消防署	嶺北三国消防署	
平成22年		31	45	31	23	130
平成23年		41	43	36	35	155
平成24年		41	20	36	21	118
平成25年		33	30	17	23	103
平成26年		47	54	17	13	131
平成27年		35	29	17	23	104
平成28年		37	30	20	20	107
平成29年		42	31	16	15	104
平成30年		30	20	23	20	93
令和元年		42	19	17	19	97
令和2年		19	24	13	10	66
令和3年		31	19	14	16	80
令和4年		25	18	16	16	75
令和5年		20	19	20	17	76
令和6年		18	22	16	15	71



通信關係

消防緊急通信指令施設関係

1. 指令運用・支援情報

(令和7年4月1日現在)

装置名	数量	装置名	数量
指令台(指揮台含む)	4台	出場車両運用管理装置	1式
長時間録音装置	1式	音声合成装置	1式
非常用指令設備	1式	支援ITシステム	1式
指令制御装置	1式	災害自動案内装置(51-2000)	10回線
車両運用端末装置	33台	無停電電源装置	1式
車外設定端末装置	18台	データメンテナンス装置	1式
車両運用表示盤	1面(86in)	気象情報収集装置	1式
支援情報表示盤	1面(86in)	現場映像伝送装置	1式
多目的表示盤	1面(86in)	メール119受信装置	1台
自動出動指定装置	4台	聴覚障害者用FAX装置	1台
支援情報装置	4台	Net119通報システム	1式
地図等検索装置	4台	駆け込み通報装置	5台
指令情報送信装置	1式	職員緊急メールシステム	1式
指令情報出力装置	5台	遠隔制御機	1台
統合型位置情報装置	1式	光119回線接続装置	1台
システム監視装置	1式	非常用119受付電話機	2台
映像制御装置	1式	全国瞬時警報システム(J-ALERT)	1式
署所端末装置	5台	緊急情報ネットワークシステム(Em-Net)	1式
屋外表示盤警告灯	1式	保守コンソール装置	1式

2. 無線電話

(令和7年4月1日現在)

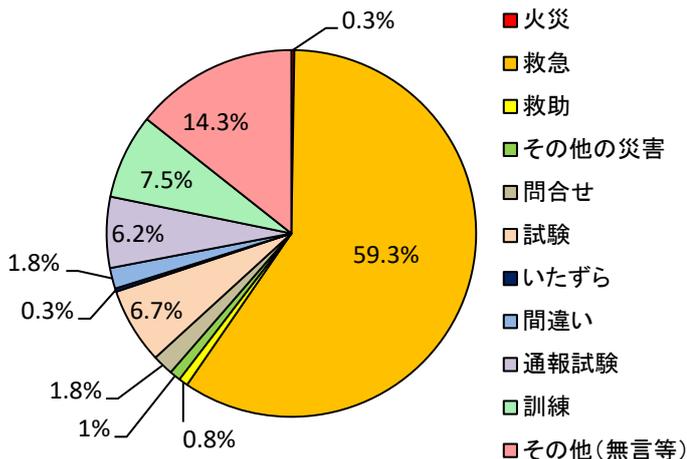
区分 局別(出力)	收容Ch	本部	嶺北署	あわら署	救分 急所	丸岡署	三国署	消防団	竹田局	安島局	合計
基地局	活動波1.2.3 主運用波6 統制波1.2.3	1 (20W)		1 (20W)					1 (5W) 活動波1.2	1 (5W) 活動波1.2	4
車載局 (10W)	活動波1.2.3 主運用波1~7 統制波1.2.3	7 (保管3)	7	8	1	7	9	34			73
携帯局 (5W)	活動波1.2.3 主運用波1~7 統制波1.2.3	7	9	10	1	9	11				47
車携帯局 (5W)	活動波1.2.3 主運用波1~7 統制波1.2.3		1	1		3		6			11
可搬局 (10W)	活動波1.2.3 主運用波1~7 統制波1.2.3	2									2
アナログ車載局 (10W)	防災相互波	1									1
アナログ携帯局 (5W)	防災相互波	1	1	1		1	1				5

3. 119番受付状況(月別)

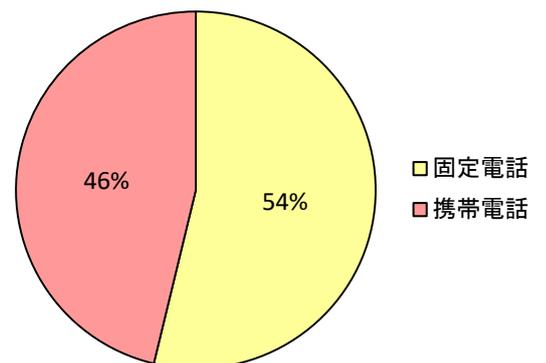
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

着信別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	固定	1		2	2		1				1		1	8	21
	携帯		2	2		1	2	1		3		1	1	13	
救急	固定	212	180	216	192	178	159	190	215	182	193	200	201	2,318	4,759
	携帯	191	186	196	212	180	178	233	243	229	178	183	232	2,441	
救助	固定	3	2	2	1	4	1	3	1	3		3	1	24	65
	携帯	1	6	8	1	4	3	2	1	4	3	5	3	41	
その他の災害	固定	1	2	3		3	3	4	5	6	4	4	1	36	78
	携帯		1		4	2	5	2	1	13	5	6	3	42	
病院問合せ	固定	4	2	2	3	3	2	1	5	3	2	5	2	34	147
	携帯	9	13	11	2	7	13	14	16	9	4	9	6	113	
試験	固定	45	31	41	49	53	39	50	41	30	43	30	50	502	537
	携帯	9			3	2	2	1		2	4	2	10	35	
いたずら	固定	1		1		1						9		12	23
	携帯			8			1		1			1		11	
間違い	固定	1	3	1	5	3	3	3		2	3	5	1	30	147
	携帯	5	16	13	10	4	7	8	10	9	10	10	15	117	
通報試験	固定	29	44	30	35	31	51	50	47	37	59	51	38	502	502
	携帯													0	
訓練	固定	11	20	48	29	51	72	43	16	40	52	95	30	507	601
	携帯	6	3	6	8	15	9	4	2	11	9	13	8	94	
その他(無言等)	固定	24	26	33	29	29	53	20	23	22	26	27	30	342	1,147
	携帯	63	47	58	68	65	49	77	109	74	72	58	65	805	
小計	固定	332	310	379	345	356	384	364	353	325	383	429	355	4,315	8,027
	携帯	284	274	302	308	280	269	342	383	354	285	287	344	3,712	
合計		616	584	681	653	636	653	706	736	679	668	716	699	8,027	

通報区分状況

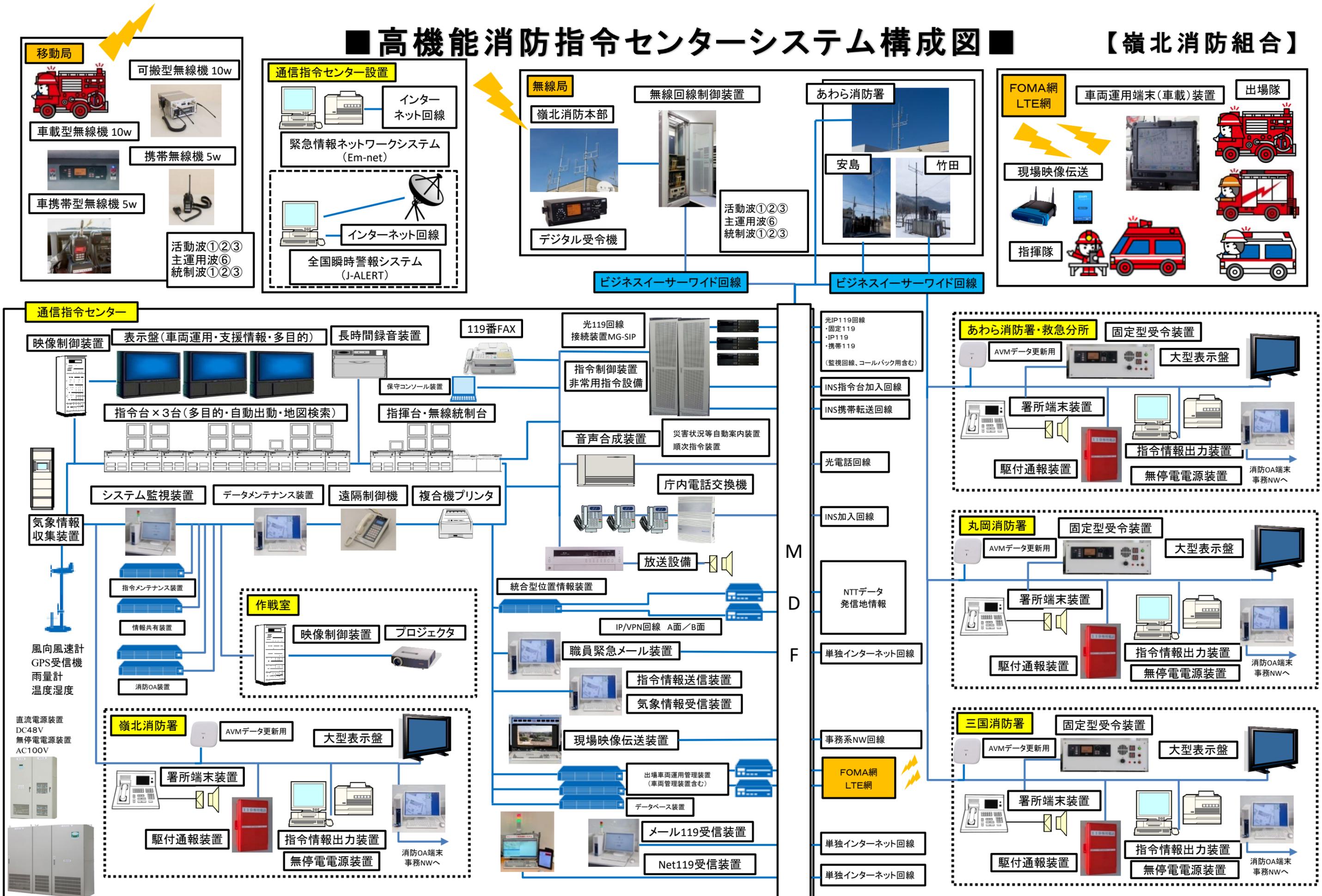


覚知別通報受信状況



■ 高機能消防指令センターシステム構成図 ■

【嶺北消防組合】





火災統計

火災概要（市別・前年との比較）

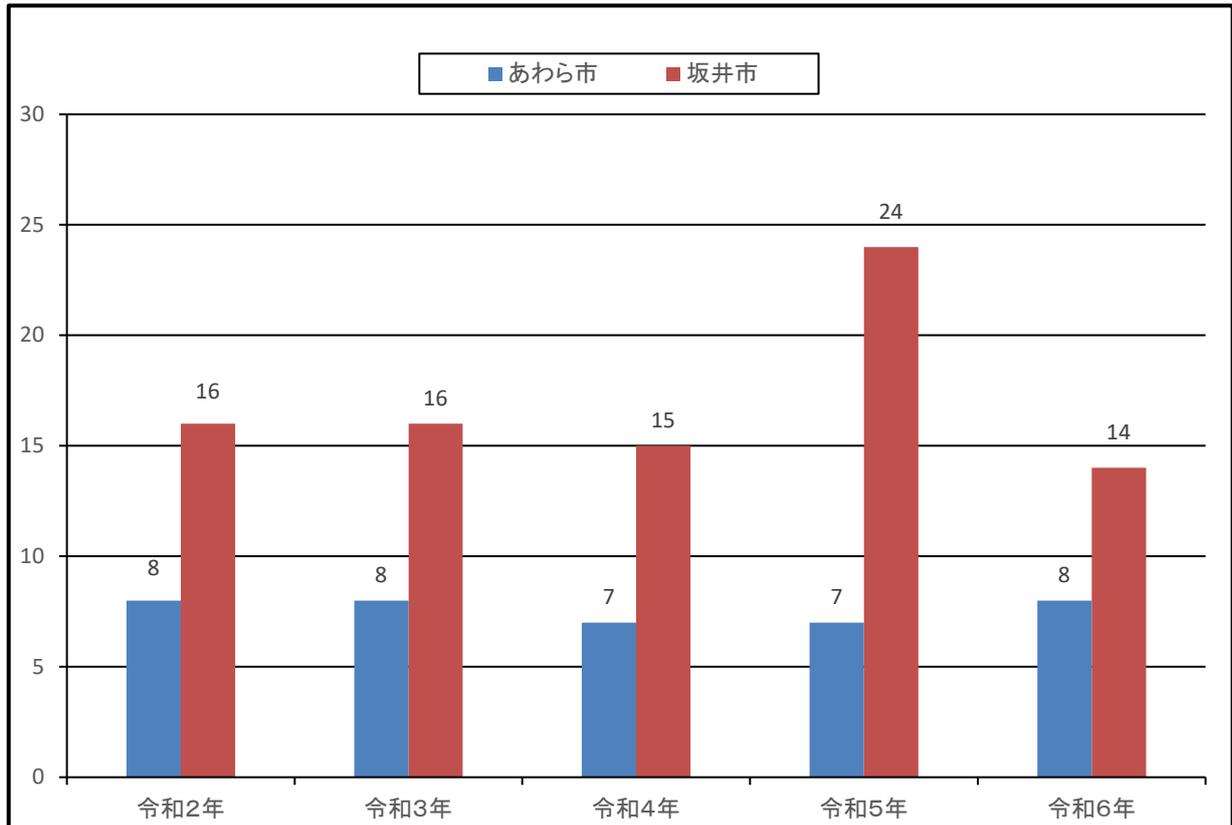
（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

年・市別 種別区分	令和6年			令和5年			前年との比較 (△は減少)
	あわら市	坂井市	合計	あわら市	坂井市	合計	
出場件数	8	14	22	7	24	31	△ 9
建物	5	9	14	2	14	16	△ 2
林野			0	1		1	△ 1
車両	2	1	3	1	4	5	△ 2
船舶			0			0	0
航空機			0			0	0
その他	1	4	5	3	6	9	△ 4
損害額(千円)	2,678	2,757	5,435	25,846	520,569	546,415	△ 540,980
建物	2,273	1,665	3,938	25,468	515,330	540,798	△ 536,860
林野			0			0	0
車両	405	1,044	1,449	378	1,143	1,521	△ 72
船舶			0			0	0
航空機			0			0	0
その他		48	48		4,096	4,096	△ 4,048
焼損棟数	6	12	18	7	33	40	△ 22
全焼			0	1	11	12	△ 12
半焼	1	2	3	1	3	4	△ 1
部分焼	1	3	4	2	12	14	△ 10
ぼや	4	7	11	3	7	10	1
り災世帯数	2	6	8	2	19	21	△ 13
全損			0		7	7	△ 7
半損	1		1		3	3	△ 2
小損	1	6	7	2	9	11	△ 4
り災人員	6	19	25	4	37	41	△ 16
建物焼損 床面積(m²)	78	18	96	474	3,671	4,145	△ 4,049
建物焼損 表面積(m²)	2	25	27	49	159	208	△ 181
林野等焼損 面積(a)			0	4		4	△ 4
死者			0		2	2	△ 2
負傷者	1	1	2	5	7	12	△ 10

過去5ヶ年の推移(発生件数及び損害額)

【発生件数】

(件)



【損害額】

(千円)

市別 \ 年別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
あわら市	6,304	28,930	6,616	25,846	2,678
坂井市	15,212	25,792	16,274	520,569	2,757
合計	21,516	54,722	22,890	546,415	5,435

月別・市別火災発生状況

(件)

市別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
あわら市		2	2	1			1			1	1		8
坂井市	1		2	1	3	3	1	1	2				14
合計	1	2	4	2	3	3	2	1	2	1	1	0	22

原因別火災発生状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

原因別	種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
ストーブ		2						2
マッチ・ライター							1	1
火入れ							1	1
排気管		1						1
配線器具		1						1
電気機器		1						1
電気装置				1				1
たき火		1					1	2
その他		5		2			1	8
不明		3					1	4
合計		14	0	3	0	0	5	22

用途別火災発生状況及び損害額

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

用途別	区分	発生件数	焼損棟数	損害額(千円)				損害額合計(千円)
				建物	収容物	その他	爆発	
建 物 用 途	住宅 共同住宅	6	10	1,869	234	1		2,104
	工場	2	2	131	224			355
	学校	1	1	301	177	5		483
	上記以外	5	5		996			996
建物火災合計 (爆発含む)		14	18	2,301	1,631	6	0	3,938
用途別	区分	発生件数	焼損面積 又は焼損数					損害額 合計(千円)
林野(a)				/				0
車両(台)		3	3					1,449
船舶(隻)								0
航空機(機)								0
その他(m ²)		5	6,115					48
建物火災以外 合計		8						1,497
合計		22		5,435				

覚知別・火災種別出場件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
119 (固定)	NTT以外	1		1			1	3
	N T T	3						3
119 (携帯)		5		1			3	9
加入 電話	固 定	1		1				2
	携 帯							0
警 察 電 話								0
駆 け 付 け								0
事 後 聞 知		4						4
自 己 覚 知								0
その他	ホットライン							0
	高速専用							0
	メール119							0
	Net 119							0
	その他						1	1
合 計		14	0	3	0	0	5	22

火災以外の出場状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ガ ス 漏 れ	1												1
油 漏 れ	2				2	1	2	2		3	2	3	17
怪 炎				2		1		1	4				8
怪 煙			2	1	1	2	1	2	17	7	3	2	38
自火報発報	2	1	1			4	2	4	5	3	4	1	27
異 臭		1			1	1							3
水 防													0
焚 き 火			1			1							2
調 査	2	2		1		2	4	5	4	4	5	4	33
救急支援	6	3	2	5	2	6	5	2	7	1	4		43
ドクターヘリ支援	1	2	3	3	6	3	1	6	7	4	5	2	43
そ の 他	1		4	4	4	2	3	1	2		1	1	23
合 計	15	9	13	16	16	23	18	23	46	22	24	13	238



救急統計

管轄別・事故種別出場件数・搬送人員数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別		管轄別		丸岡署 (丸岡町)	三国署 (三国町)	高 速	そ の 他	合 計	
		嶺北署 (春江町・坂井町)	あわら署 (あわら市)						
火災	出場件数	2	0	0	0			2	
	搬送人員	1	0	0	0			1	
自然災害	出場件数	0	3	0	0			3	
	搬送人員	0	3	0	0			3	
水難事故	出場件数	0	1	1	10			12	
	搬送人員	0	0	0	2			2	
交通事故	出場件数	103	53	76	31	6	1	270	
	搬送人員	102	56	81	30	8	1	278	
労働災害	出場件数	10	11	10	10			41	
	搬送人員	10	11	8	10			39	
運動競技	出場件数	9	14	9	17			49	
	搬送人員	9	15	9	17			50	
一般負傷	出場件数	252	229	186	198	1		866	
	搬送人員	241	214	168	189	1		813	
加害	出場件数	2	1	2	2			7	
	搬送人員	2	1	2	1			6	
自損行為	出場件数	7	5	4	5			21	
	搬送人員	3	2	2	1			8	
急病	出場件数	1033	959	689	670	9		3,360	
	搬送人員	969	866	646	614	8		3,103	
その他	転院搬送	出場件数	74	132	31	147			384
		搬送人員	74	132	31	147			384
	医師搬送	出場件数	0	1	0	0			1
		搬送人員	0	0	0	0			0
	資器材輸送	出場件数	0	0	0	0			0
		搬送人員	0	0	0	0			0
	その他	出場件数	3	5	4	6	1		19
		搬送人員	2	1	1	2	0		6
出場件数 合計		1,495	1,414	1,012	1,096	17	1	5,035	
搬送人員 合計		1,413	1,301	948	1,013	17	1	4,693	

管轄別・月別出場件数・搬送人員数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

管轄別 月別		嶺北署 (春江町・坂井町)	あわら署 (あわら市)	丸岡署 (丸岡町)	三国署 (三国町)	高 速	そ の 他	合 計
1 月	出場件数	166	116	90	67	2		441
	搬送人員	156	107	86	63	2		414
2 月	出場件数	98	116	75	99			388
	搬送人員	92	103	69	88			352
3 月	出場件数	134	139	69	90	1		433
	搬送人員	131	126	64	77	1		399
4 月	出場件数	119	126	82	91	1	1	420
	搬送人員	114	111	77	83		1	386
5 月	出場件数	112	105	81	86	2		386
	搬送人員	100	94	75	83	2		354
6 月	出場件数	107	106	73	71			357
	搬送人員	102	98	68	66			334
7 月	出場件数	150	108	81	105	2		446
	搬送人員	140	100	80	95	3		418
8 月	出場件数	139	138	103	109			489
	搬送人員	131	130	94	104			459
9 月	出場件数	113	107	93	115	5		433
	搬送人員	107	98	87	108	6		406
10 月	出場件数	112	106	87	77	2		384
	搬送人員	109	103	82	71	2		367
11 月	出場件数	112	119	77	94	2		404
	搬送人員	105	112	74	88	1		380
12 月	出場件数	133	128	101	92			454
	搬送人員	126	119	92	87			424
出場件数 合計		1,495	1,414	1,012	1,096	17	1	5,035
搬送人員 合計		1,413	1,301	948	1,013	17	1	4,693

事故種別・傷病程度別搬送人員数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 程度別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資器 輸材送	その他	
死亡				1			6			56				1	64
重症			1	10	5		27	2	1	198	74			3	321
中等症			1	99	13	28	393	2	4	1,536	264				2,340
軽症	1	3		168	21	22	387	2	3	1,313	46			2	1,968
その他															0
合計	1	3	2	278	39	50	813	6	8	3,103	384	0	0	6	4,693

事故種別・覚知別出場件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 覚知別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	
											転院搬送	医師搬送	資器 輸材送	その他		
119 (固定)	NTT以外		1	1	14	7	3	287	1	4	1,092	338			1	1,749
	N T T			1	4	1	6	89			310	28			4	443
119 (携帯)		2	7	206	30	37	457	5	11	1,813				11	2,579	
加入 電話	固定			2	19	1	1	17	1	5	53	18			2	119
	携帯				1		1	10			50				1	63
警察電話																0
駆け付け				1	1			4			35					41
自己覚知	2		1	19	1	1	2		1	7		1				35
その他	ホットライン															0
	高速専用				1											1
	メール119															0
	Net 119															0
	その他				5											5
合計	2	3	12	270	41	49	866	7	21	3,360	384	1	0	19	5,035	

救急隊員の行った応急処置件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

応急処置	事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
	止血	血	22	22	100	10
固定	定	25	174	128	39	366
人工呼吸	吸	5	0	1	1	7
胸骨圧迫	迫	1	0	0	0	1
心肺蘇生	生	86	1	10	5	102
酸素吸入	入	629	15	45	111	800
気道確保	保	132	2	13	9	156
	うち気管挿管	4	0	5	1	10
保温	温	1,666	106	389	248	2,409
被覆	覆	15	31	113	19	178
在宅療法継続	続	5	0	1	0	6
ショックパンツ	ツ	0	0	0	0	0
除細動	動	13	0	0	0	13
静脈路確保	保	71	2	8	1	82
その他の応急措置	置	71	3	9	18	101
血圧測定	定	2,958	269	784	487	4,498
S p O 2 測定	定	3,009	274	791	491	4,565
聴診器	器	910	74	89	100	1,173
心電図	図	2,287	130	339	293	3,049
アドレナリン投与	与	23	0	3	1	27
エピペン投与	与	0	0	0	0	0
血糖値測定	定	144	0	1	2	147
ブドウ糖投与	与	15	0	0	0	15
合計		12,087	1,103	2,824	1,835	17,849

救急講習会実施状況

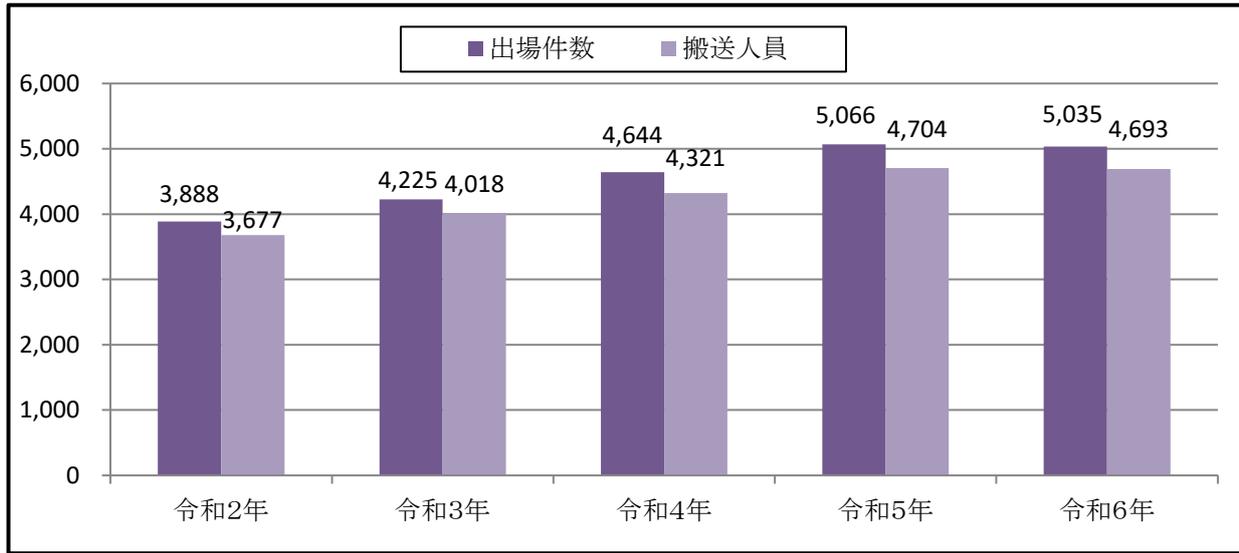
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

講習会内容	実施回数		受講者(人)	対象者
普通救命講習会	嶺北署	11	156	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所 ・学校関係 ・福祉施設関係 ・市役所関係 ・一般市民
	あわら署	11	169	
	丸岡署	9	120	
	三国署	14	383	
	合計	45	828	
救急講習会	嶺北署	38	1,231	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所 ・学校関係 ・福祉施設関係 ・市役所関係 ・一般市民
	あわら署	51	950	
	丸岡署	19	648	
	三国署	25	840	
	合計	133	3,669	

過去5ヶ年の推移(出場件数、搬送人員数・市別出場件数・年齢区分別割合)

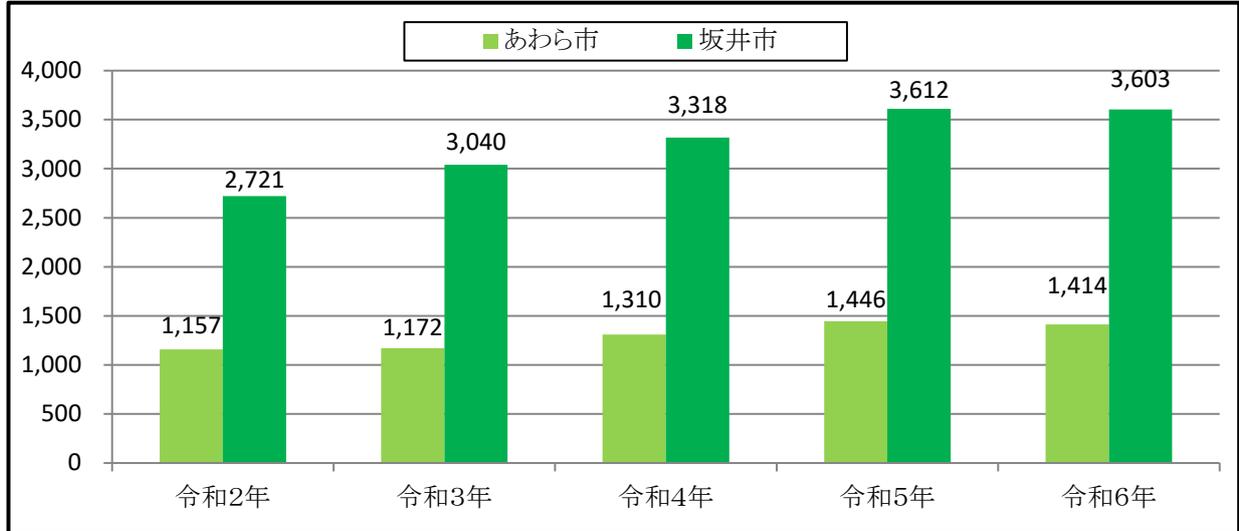
【出場件数・搬送人員数】

(件・人)

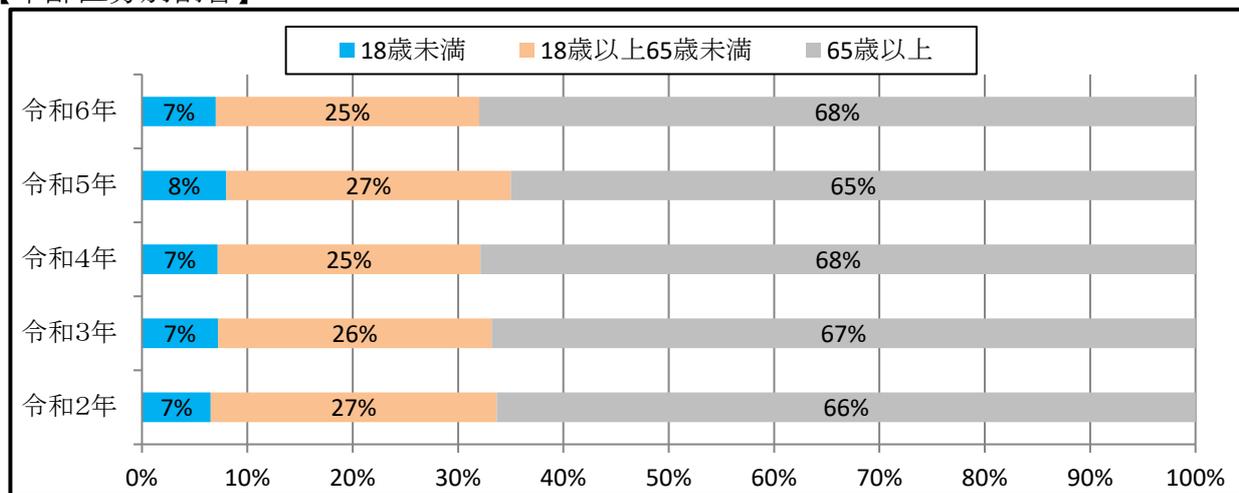


【市別出場件数】

(件)



【年齢区分別割合】



ドクターヘリ要請状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
											転院搬送	その他	
要請件数	1			2	3		4	1		48	1	1	61
出動件数	1			2	3		4	1		47	1	1	60
未出動件数										1			1
天候不良										1			1
重複要請													0
その他													0

ドクターヘリ 市別・事故種別要請件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 市別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
											転院搬送	その他	
あわら市				1	2			1		17			21
坂井市	1			1	1		4			31	1	1	40
高速													0
その他													0
合計	1	0	0	2	3	0	4	1	0	48	1	1	61

ドクターヘリ 市別・事故種別搬送件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 市別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
											転院搬送	その他	
あわら市				1	2			1		14			18
坂井市							3			26	1	1	31
高速													0
その他													0
合計	0	0	0	1	2	0	3	1	0	40	1	1	49



救助統計

救助種別・各区分別出場件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

区分(管轄別他)		種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	機械による事故	建物等による事故	ガスおよび酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計	
		火災	自然災害											
出場件数	嶺北署						20	1	4			1	26	
	あわら署				1		8	2	2			2	15	
	丸岡署				1		10	1	3			2	17	
	三国署					13	6		1			7	27	
	高速						1						1	
	その他													0
	小計			0	0	15	45	4	10	0	0	12	86	
活動件数						12	29	2	3			8	54	
救助人員						12	31	2	3			8	56	
出場隊員数	救助隊員					62	185	18	42			47	354	
	消防隊員					41	15	4				20	80	
	救急隊員					46	173	12	24			36	291	
	小計			0	0	149	373	34	66	0	0	103	725	
出場車両数	救助工作車					15	45	4	10			13	87	
	ポンプ車					13	5	1				5	24	
	救急車					15	59	4	8			12	98	
	その他					4	1	1				1	7	
	小計			0	0	47	110	10	18	0	0	31	216	

過去5ヶ年の推移(救助種別推移・出場件数及び救助人員数)

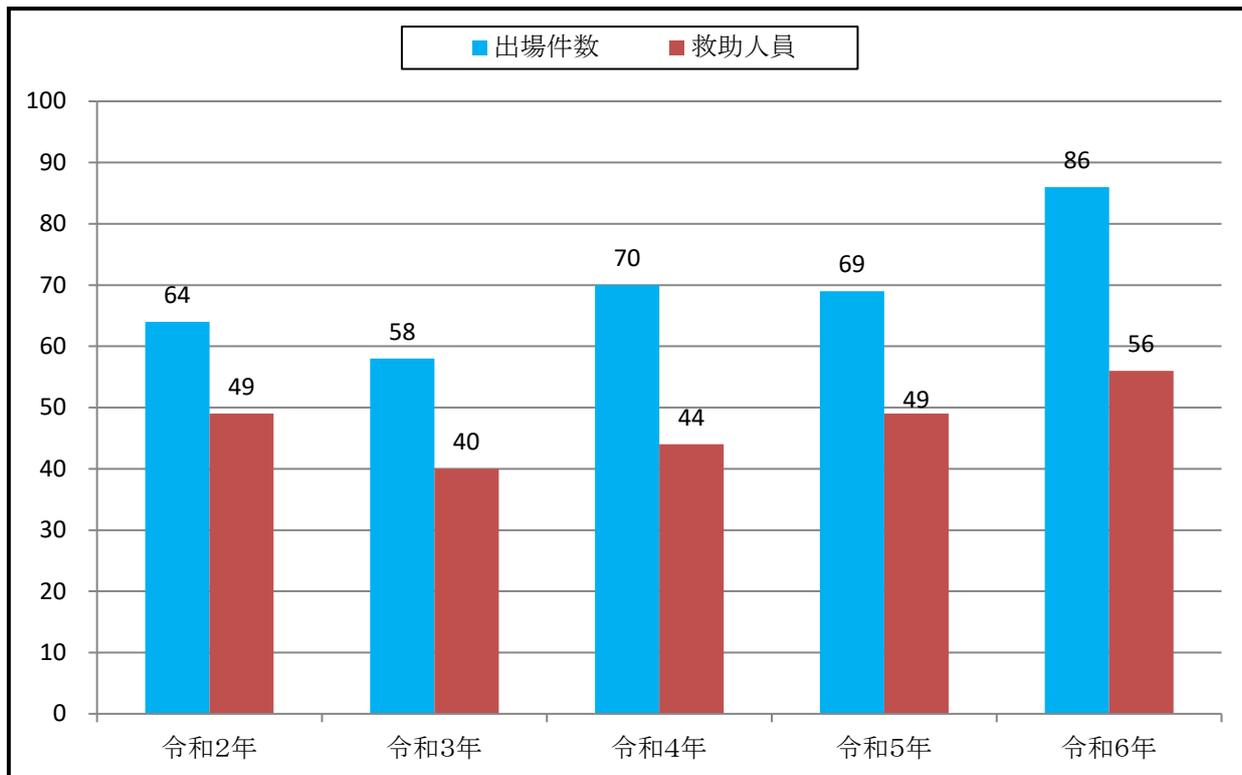
【救助種別推移】

(件)

年別	種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	機械による事故	建物等による事故	ガスおよび酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
	火災	自然災害										
令和6年					15	45	4	10			12	86
令和5年					15	35	5	2			12	69
令和4年					8	38	4	1			19	70
令和3年					8	38	1	4			7	58
令和2年					11	31	1	2			19	64

【出場件数及び救助人員数】

(件・人)



事故種別・覚知別出場件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

種別 覚知別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	機械事故	建物等による事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
		119 (固定)	NTT以外				5	2	1		
	NTT			1	1					2	4
119 (携帯)				10	30	2	7			4	53
加入電話	固定			4	4					3	11
	携帯									2	2
警察電話											0
駆け付け											0
自己覚知					2		2			1	5
その他	ホットライン										0
	高速専用										0
	メール119										0
	Net 119										0
	その他				3						3
合計		0	0	15	45	4	10	0	0	12	86

消防団

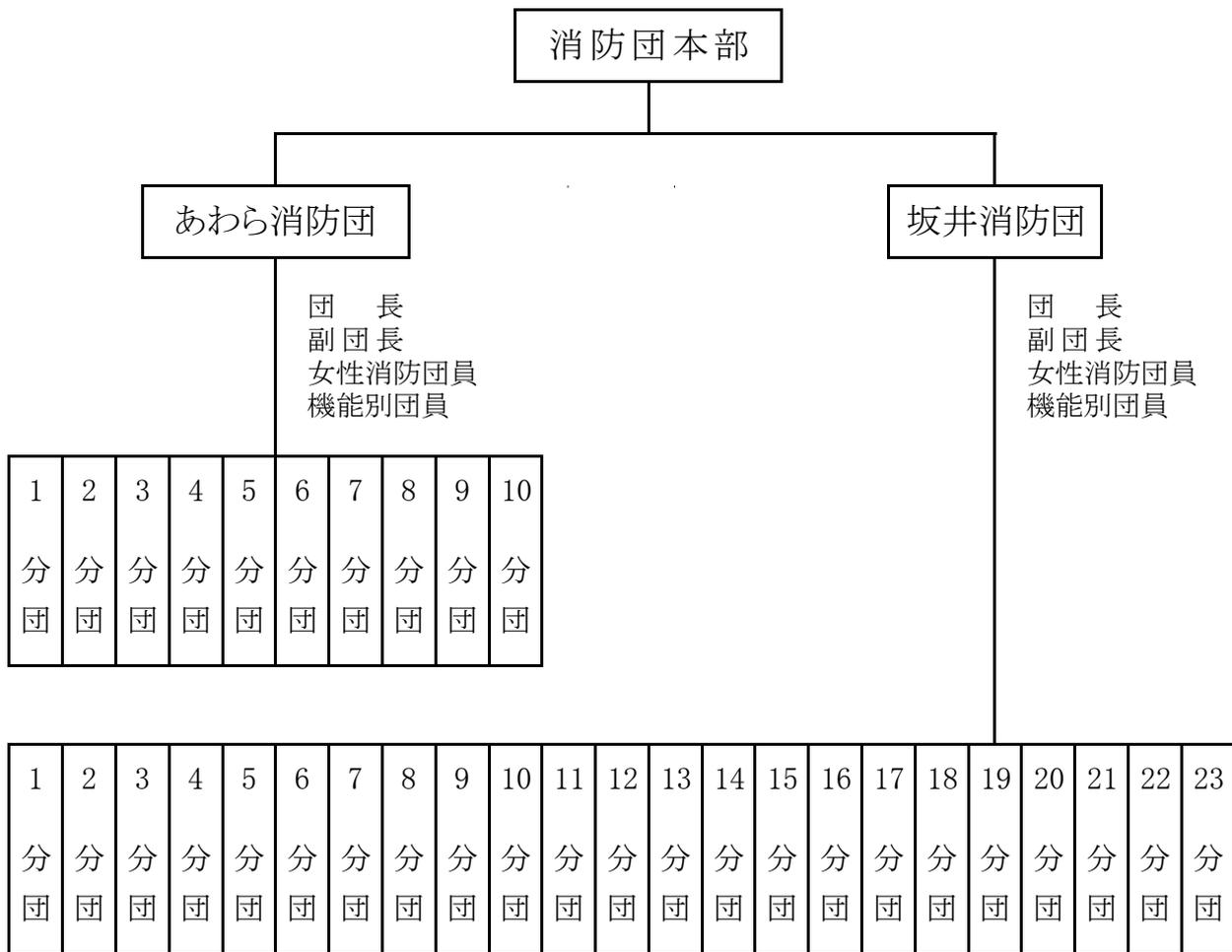


あわら消防団
団長 道谷 成雄
令和4年4月1日～



坂井消防団
団長 上田 幸生
令和3年4月1日～

消防団組織機構図



消防団員数

(令和7年4月1日現在)

階級別		現 在 員							
		合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
あわら消防団	264	249 (5)	1	4	10	16	1(1)	18(1)	199 (3)
坂井消防団	509	458(12)	1	4	23	36	1(1)	45(2)	348(9)
合 計	773	707(17)	2	8	33	52	2(2)	63(3)	547(12)

※()は女性消防団員数

消防団員勤続年数

(令和7年4月1日現在)

勤続年数	団名	あわら消防団	坂井消防団	合計
5年未満		43	90	133
5年以上～10年未満		42	74	116
10年以上～15年未満		43	73	116
15年以上～20年未満		46	77	123
20年以上～25年未満		29	58	87
25年以上～30年未満		26	52	78
30年以上		20	34	54
合計		249	458	707

消防団員年齢状況

(令和7年4月1日現在)

年齢	階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
21歳未満								2	2
21歳～25歳								4	4
26歳～30歳								21	21
31歳～35歳								40	40
36歳～40歳							1	96	97
41歳～45歳							6	100	106
46歳～50歳					9		21	115	145
51歳～55歳			1	8	16	1	17	93	136
56歳以上		2	7	25	27	1	18	76	156
合計		2	8	33	52	2	63	547	707

保有消防車両一覧

(令和7年4月1日現在)

団名	分団名	配置場所	シャーン	登録年	車両規格	
			メーカー		メーカー	型式
あ わ ら 団	第1分団	国 影	トヨタ	平成26年	モリタ	CD-I
			いすゞ	平成20年	モリタ	多機能型消防車
	第2分団	北 湯	トヨタ	平成29年	モリタ	CD-I
	第3分団	吉 崎	トヨタ	平成25年	モリタ	CD-I
	第4分団	滝	トヨタ	平成22年	モリタ	CD-I
	第5分団	北	いすゞ	平成31年	モリタ	CD-I
	第6分団	櫛	トヨタ	平成27年	モリタ	CD-I
	第7分団	清 間	トヨタ	平成23年	モリタ	CD-I
	第8分団	春宮一丁目	トヨタ	平成31年	ナカムラ	CD-I
	第9分団	中 番	日 野	平成20年	モリタ	CD-I
第10分団	国 影	日 野	平成19年	モリタ	CD-I	

(令和7年4月1日現在)

坂	第1分団	上 金 屋	トヨタ	令和 2年	モリタ	CD-I
		友 末	トヨタ	平成16年		積載車
井	第2分団	山 竹 田	トヨタ	平成 9年	モリタ	BD-I
		上 竹 田	トヨタ	平成 3年		積載車
		山 竹 田	トヨタ	昭和61年		積載車
団	第3分団	愛 宕	トヨタ	平成29年	日本機械	CD-I
	第4分団	本 町	トヨタ	令和 2年	モリタ	CD-I
団	第5分団	寅 国	トヨタ	平成23年	モリタ	CD-I
		板 倉	ニッサン	平成17年		積載車
		舟 寄	トヨタ	平成15年		積載車
第6分団	下 安 田	トヨタ	平成29年	日本機械	CD-I	

坂 井 団	第7分団	中 筋	トヨタ	平成27年	モリタ	CD-I
	第8分団	江留上昭和	トヨタ	平成26年	モリタ	CD-I
	第9分団	江 留 中	トヨタ	平成26年	モリタ	CD-I
	第10分団	松 木	トヨタ	平成23年	モリタ	CD-I
	第11分団	上小森	トヨタ	平成29年	モリタ	CD-I
	第12分団	上 兵 庫	トヨタ	平成22年	モリタ	CD-I
	第13分団	長 畑	トヨタ	平成26年	モリタ	CD-I
	第14分団	東	日 野	平成20年	モリタ	CD-I
	第15分団	高 柳	日 野	令和 7年	長野ポンプ	CD-I
	第16分団	池 見	トヨタ	平成29年	モリタ	CD-I
	第17分団	黒 目	トヨタ	平成28年	モリタ	CD-I
	第18分団	新 保	トヨタ	平成28年	モリタ	CD-I
	第19分団	宿	日 野	令和 3年	ネイチャー	CD-I
	第20分団	安 島	トヨタ	平成10年	日本機械	BS-I
		崎	日 野	令和 3年	ネイチャー	CD-I
	第21分団	加 戸	日 野	令和 4年	長野ポンプ	CD-I
第22分団	西 今 市	日 野	令和 5年	長野ポンプ	CD-I	
第23分団	中央1丁目	日 野	令和 6年	長野ポンプ	CD-I	

消防団員の報酬

(令和7年4月1日現在)

階級	報酬区分	年額報酬	出場勤務報酬
		金 額	金 額
団 長		136,000円	①災害の場合 1回につき3,000円 (4時間以上については1時間につき 1,000円を加算し、8,000円を上限と する) ②災害以外の場合 1回につき3,000円
副 団 長		98,000円	
分 団 長		79,000円	
副分団長		67,000円	
部 長		39,000円	
班 長		39,000円	
団 員		36,500円	
機 関 員		15,000円	



關係團體

女性防火クラブ

■ クラブの現況

(令和7年4月1日現在)

クラブの名称	クラブ結成年月日	クラブ員数	備考
あわら市女性防火クラブ	昭和55年5月25日	198人	平成16年4月18日再編成
坂井市女性防火クラブ	昭和40年4月1日	247人	平成18年4月9日再編成

■ 各クラブ会長

あわら市女性防火クラブ 今井 由香里 (令和2年4月～)

坂井市女性防火クラブ 加藤 昌美 (令和4年4月～)

■ 活動状況

- ・ 防火、防災研修会
- ・ 救急研修会
- ・ 女性防火だより作成



幼年・少年消防クラブ

■ クラブの現況

(令和7年4月1日現在)

クラブの名称	クラブ結成年月日	クラブ員数	指導員数
あわら市幼年消防クラブ	昭和56年10月 1日	748人	12人
坂井市幼年消防クラブ	昭和56年10月 1日	3011人	32人
あわら市少年消防クラブ	昭和48年 6月 7日	175人	7人
坂井市少年消防クラブ	昭和48年11月15日	739人	19人

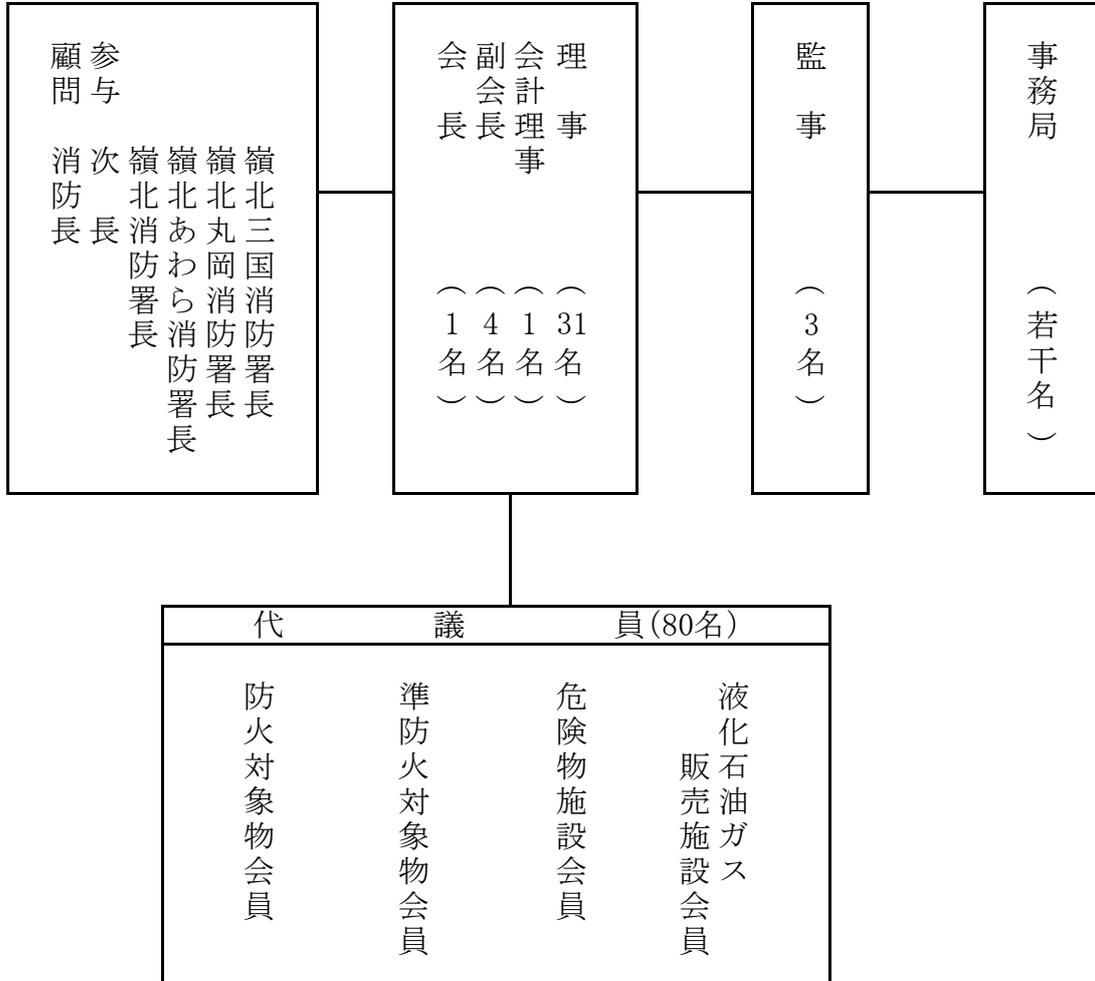
■ 活動状況

- ・ 各クラブごとの防火教室
- ・ 消防署見学、放水体験
- ・ 防火ポスターを作製し住民PR(各市文化祭展示)
- ・ 防火訪問(火災予防運動の一環)
- ・ 街頭広報(火災予防運動の一環)
- ・ のぼり旗の掲示広報
- ・ 火の用心防火豆まき
- ・ 一日消防官



嶺北防火協会

■嶺北防火協会組織図



■防火協会会員数

(令和7年4月1日現在)

市別	会員数	防火対象物 (法第8条)	準防火	危険物施設 (法第11条)	LPG	合計
あわら市		141	100	23	1	265
坂井市		321	183	88	26	618
合計		462	283	111	27	883

■主な事業内容

- ・ 総会
- ・ 役員会(3回)
- ・ 正副会長会議(2回)
- ・ 福井県危険物安全協会連合会表彰式及び理事会
- ・ 福井県防火団体連絡協議会定例会
- ・ 自衛消防操法大会(各種目にて消火技術を競う)
- ・ 機関紙発行(会員配布、行政区回覧)2回
- ・ 防火カレンダー作成配布
- ・ 防火管理資格付与講習会(2回)
- ・ 甲種防火管理再講習会
- ・ 防火作文、防火標語優秀作品表彰式
- ・ 嶺北防火協会講習会
- ・ 春季火災予防運動期間中の広報活動
- ・ 危険物安全週間中の広報活動
- ・ 秋季火災予防運動期間中の広報活動
(各幼年消防クラブを防火訪問、園児に防火の呼びかけ)



2025年度 全国統一防火標語

急ぐ日も

足止め火を止め

準備よし